

新中期経営計画 2024年3月期決算説明会

2024年5月27日

① 会社概要、NDKグループ理念体系

② 日本電設3ヶ年経営計画2021の振り返り

1. 数値目標の達成状況
2. 部門別成果

長期ビジョン

③ NDK Vision90

1. 持続的成長への方向性
2. NDK Vision90
3. NDK Vision90への成長プロセス
4. 成長投資計画
5. 配当の推移

新中期経営計画

④ 日本電設3ヶ年経営計画2024

1. 経営目標、重点実施項目
2. 事業戦略
3. 経営基盤戦略

⑤ 2024年3月期決算概要（連結） 2025年3月期業績予想（連結）

⑥ Appendix



① 会社概要、NDKグループ理念体系

鉄道電気工事における
リーディングカンパニー

一般電気工事、
情報通信工事まで幅広く

全国で事業展開

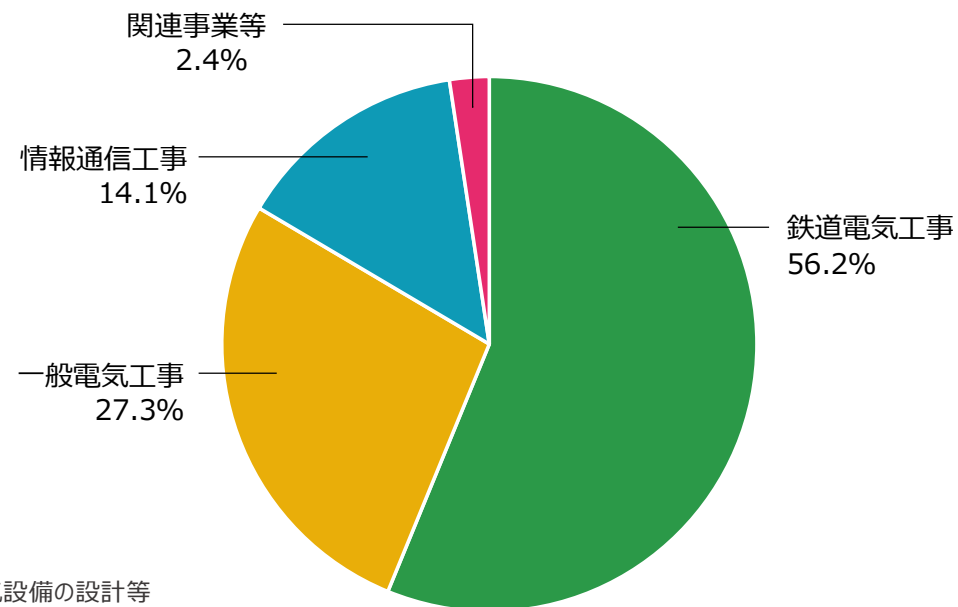
部門別売上高構成額

(単位：百万円)

部門	2024年3月期 売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄道電気工事	109,165	81,509
一般電気工事	52,943	2,065
情報通信工事	27,319	12,668
関連事業等※	4,602	146
合計	194,031	96,390 (49.7%)

※「関連事業等」とは、不動産業およびビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

部門別売上高構成比率



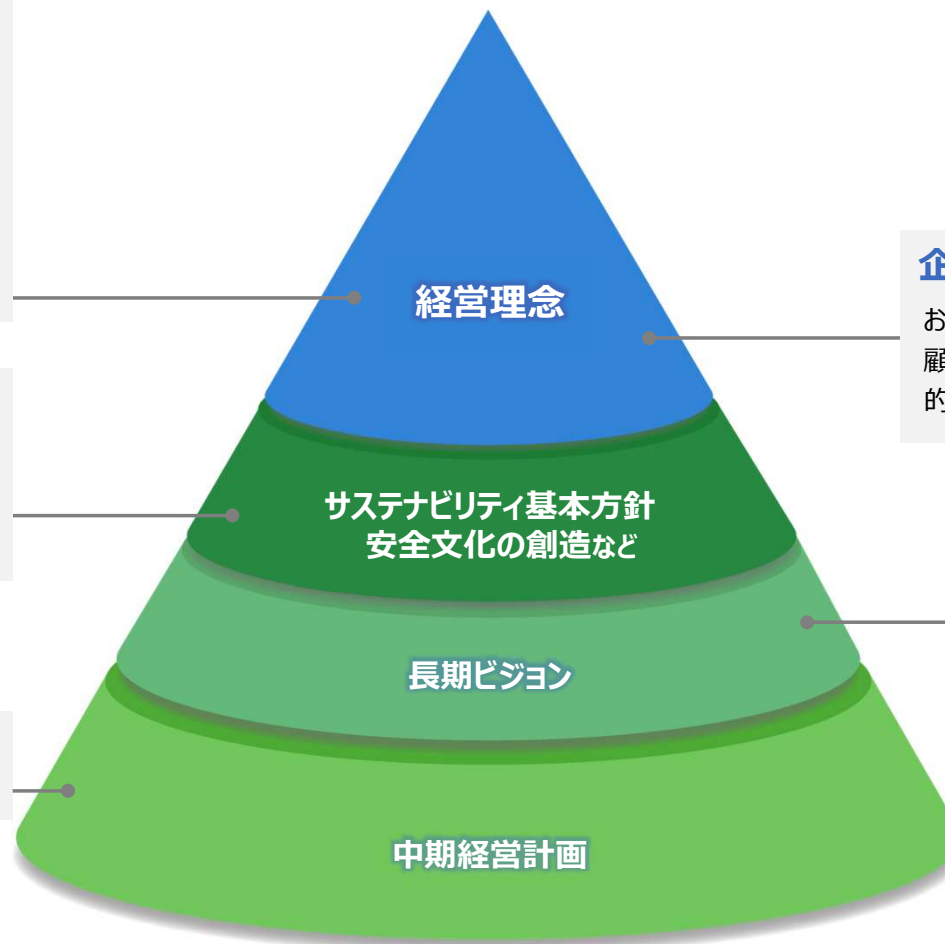
誠 技 明 社
実 能 朗 是
奉 練 親 和
仕 磨 和

サステナビリティ基本方針

- ・地域社会と共に発展・成長の実現
- ・事業を通じた地球環境への貢献
- ・多様な人材の育成・活躍・ダイバーシティの推進

日本電設 3ヶ年経営計画2024

「飛躍への挑戦」



企業理念

お客様本位の精神で安全・確実な業務の遂行により顧客の信頼を高め、人々の生活や経済を支える社会的に重要なインフラの創造をとおして社会に貢献する

NDK Vision90

鉄道電気工事のリーディングカンパニーとしての誇りと責任を持ちつつ、一般電気・情報通信・環境エネルギー各工事部門の事業拡大により「総合インフラ設備工事会社」を目指す



② 日本電設3ヶ年経営計画2021の振り返り

2 ① 数値目標の達成状況

3ヶ年の業績推移

2024年3月期において、全ての経営指標の計画値を上回り、利益のV字回復を達成

(単位：億円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画) ※	2024年3月期 (実績)	総括
受注高	1,906	1,723	1,826	1,800	2,080	受注高・売上高 ● 民間設備投資等の回復傾向を捉え 鉄道の新線プロジェクト、駅前大規模 再開発など、大型案件を受注
売上高	1,956	1,735	1,721	1,899	1,940	
営業利益	141	74	96	124	134	営業利益・経常利益 ● 選別受注およびJR東日本発注工事の 単価見直し等による採算性の向上 ● ICT活用促進、モバイルワークによる 生産性の向上
営業利益率	7.3%	4.3%	5.6%	6.5%	6.9%	
経常利益	153	87	109	136	149	
経常利益率	7.9%	5.0%	6.3%	7.2%	7.7%	いずれも、コロナ禍以前 (2021年3月期)の水準まで、 ほぼ回復

※「日本電設3ヶ年経営計画2021」で発表した計画値



鉄道電気工事

- ・鉄道事業者の設備投資抑制の影響を受けるもJR東日本をはじめJR各社との強固な関係性を維持
- ・公民鉄事業者への事業領域を拡大

受注高 1,116億円 → 1,171億円 (+55億円)



一般電気工事

- ・民間設備投資回復を捉えた戦略的受注
- ・選別受注により営業利益が改善

受注高 492億円 → 625億円 (+133億円)

営業利益 28.2億円 → 34.4億円 (+6.2億円)

※ 一般電気工事の実績値には、環境エネルギー工事を含む



情報通信工事

- ・通信事業者の設備投資抑制の影響を受けるも回復傾向
- ・新規事業としてインフラシェア事業へ参入

受注高 283億円 → 267億円 (-16億円)

営業利益 29.0億円 → 17.7億円 (-11.3億円)



関連事業等

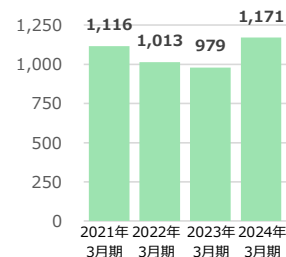
- ・収益性の高い不動産への投資により利益の拡大
- ・自社業務用ビルの改修ZEBなど環境負荷低減へ貢献

営業利益 7.8億円 → 12.0億円 (+4.2億円)

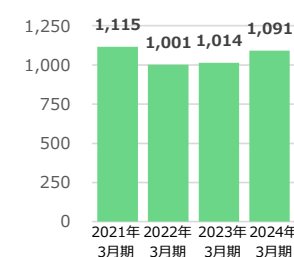
※ 各数値は、「2021年3月期」と「2024年3月期」の比較

※ 「関連事業等」とは、不動産業およびビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」に金額は含まれていない

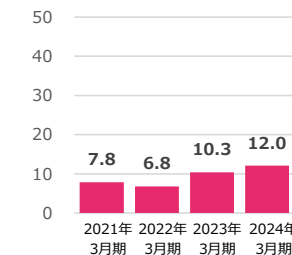
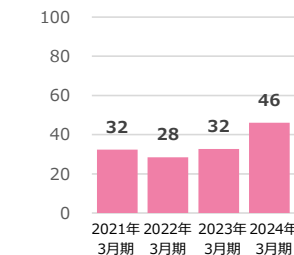
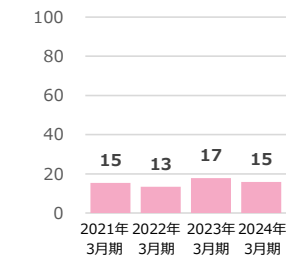
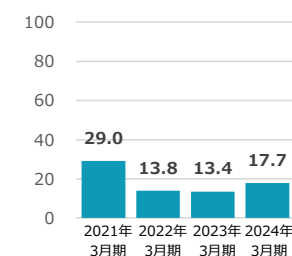
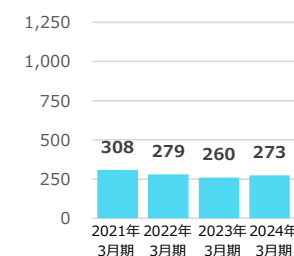
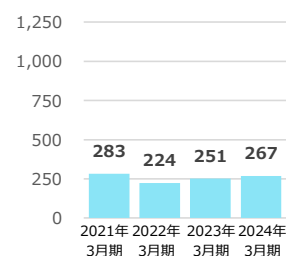
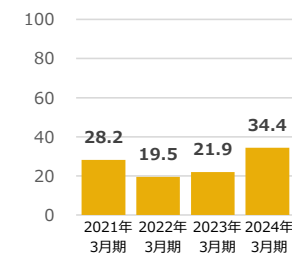
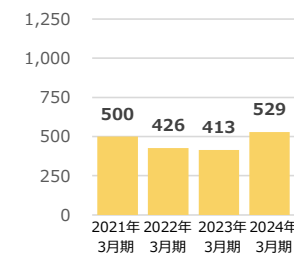
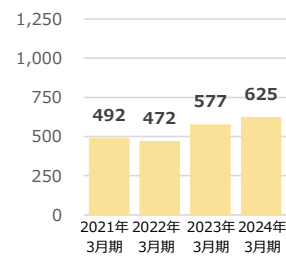
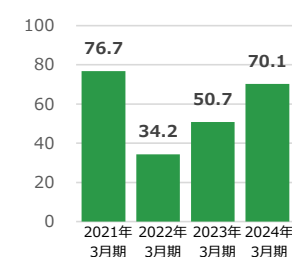
● 受注高 (億円)



● 売上高 (億円)

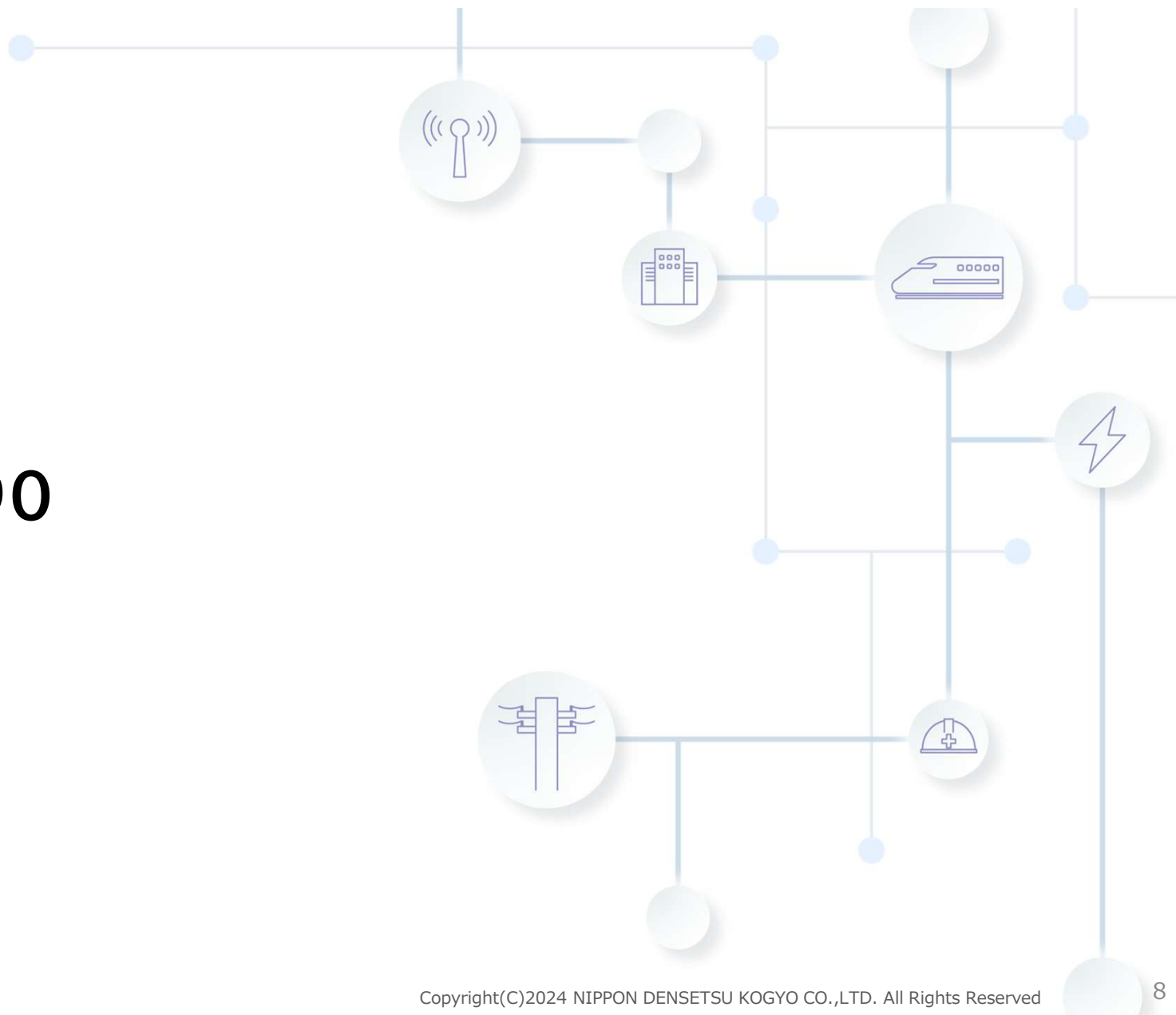


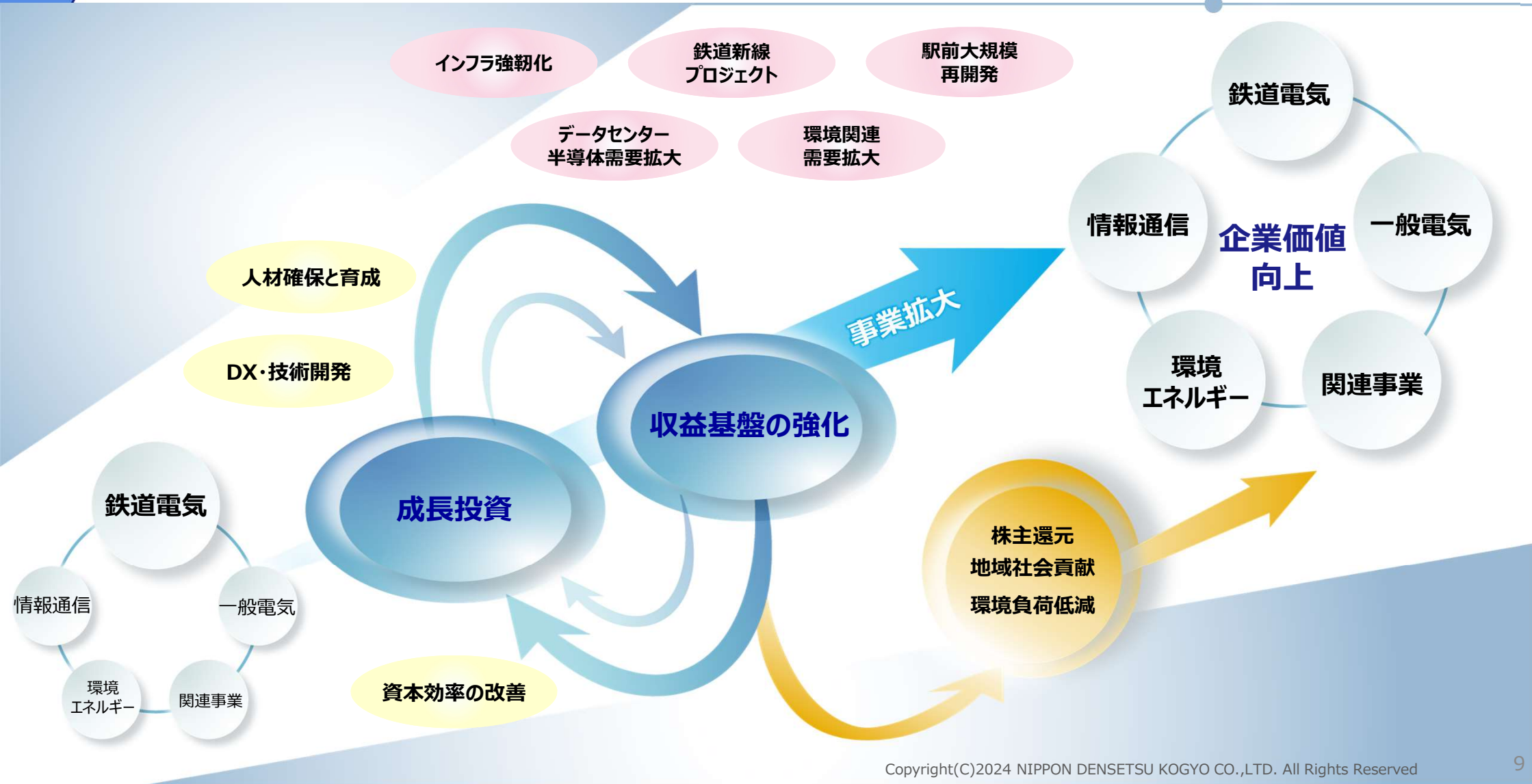
● 営業利益 (億円)



長期ビジョン

③ NDK Vision90





2031年度（第90期）にありたい姿

NDK Vision90

鉄道電気工事のリーディングカンパニーとしての誇りと責任を持ちつつ、
一般電気・情報通信・環境エネルギー各工事部門の事業拡大により
「総合インフラ設備工事会社」を目指す

 **事業部門比率の均等化** 一般電気、情報通信、環境エネルギー各工事部門の拡大

常連顧客との
さらなる関係強化による
収益基盤の強化

新規事業の創出
事業領域の拡大



JR東日本をはじめJR各社からの受注確保



駅ビル、学校など常連顧客からの受注拡大



モバイル分野の受注確保とネットワーク分野の受注拡大



全国公民鉄への参入領域拡大



空調衛生、ZEB、創エネの全国展開



全国大型開発工事への参画



新規事業への参入



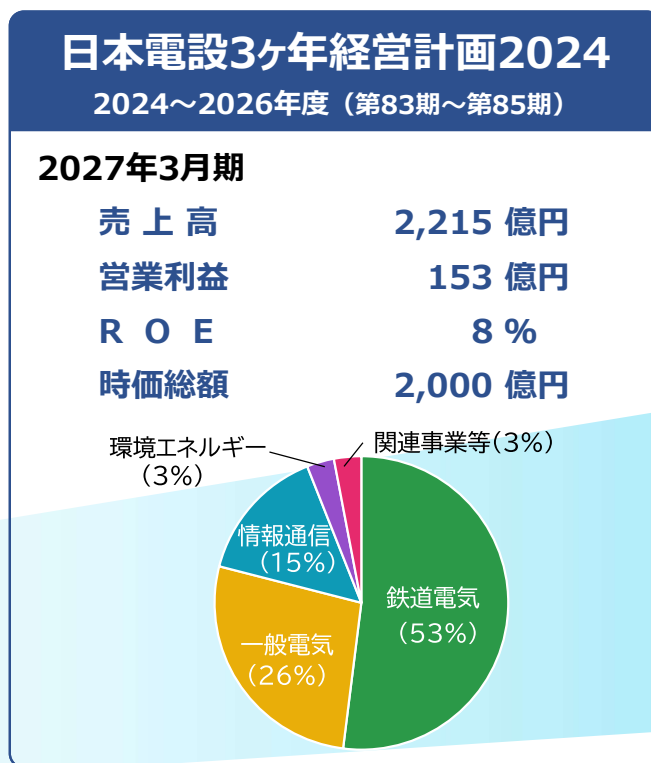
インフラシェア事業の全国展開

(リサイクル事業、地域社会関連事業)

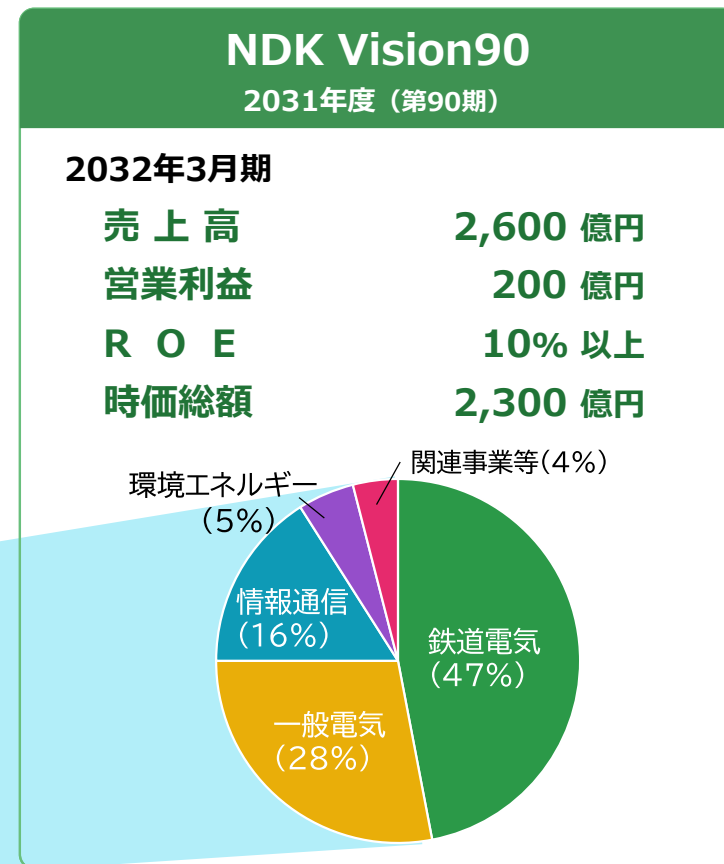
3 ③ NDK Vision90への成長プロセス



NDK Vision90への足掛かりとなる中期経営計画



収益拡大に向けた種まき



既存収益基盤の拡大と
新規領域の収益化

政策保有株式の売却や事業により創出したキャッシュを活用

2024年度～2031年度累計



750億円

成長投資内訳

人材

- 成果に基づく魅力ある処遇を通じた人材の確保
- 教育実習設備の更新・追加をはじめとした人材育成の強化
- 職場環境の改善

生産性向上

- 新規技術開発および新技術の導入
- DX教育の強化および生成AI活用
- 工事用車両、機械の更新を通じた安全・省力化

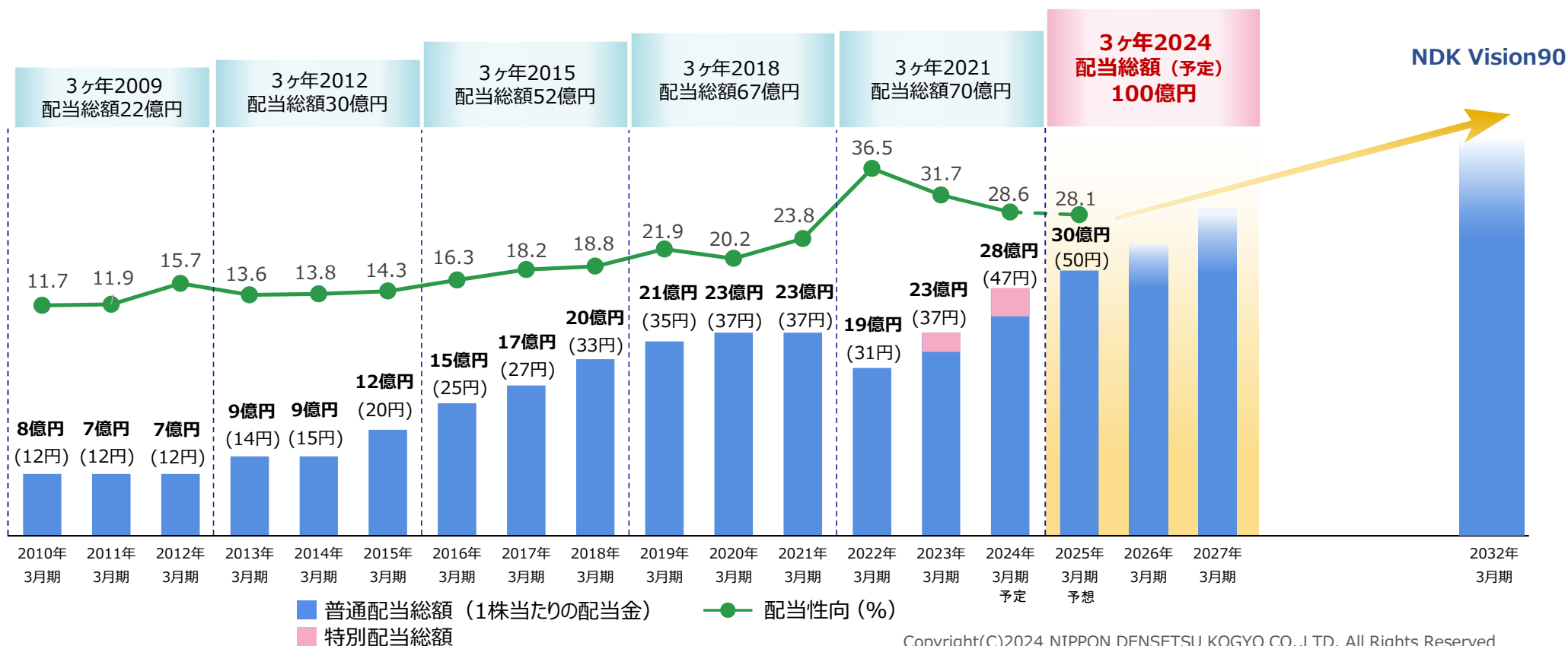
事業関連

- 施工体制強化や新規事業に通じるM&A
- 社内ベンチャー制度構築やスタートアップとの協業
- 協力会社へ採用や事業承継などの支援の強化
- 環境負荷低減や地域社会への貢献

※ 原資には政策保有株式の売却を含む（50%縮減）

利益配分における 基本方針

当社は、企業価値の持続的成長を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を重要課題の一つと認識しております。利益の配分については、株主の皆様へ成長の成果に準拠した安定的な配当を継続して行うことを基本としつつ、将来へ向けての成長投資や経営基盤の強化を総合的に勘案しながら、配当額を決定する方針としました。





新中期経営計画

④ 日本電設3ヶ年経営計画2024

2024年度(第83期)～2026年度(第85期)

～ 飛躍への挑戦 ～

● テーマ

『 飛躍への挑戦 』

チームNDKで挑み、共に成長を実感する！

● 経営目標

連結 (2027年3月期)

売上高 2,215 億円

営業利益 153 億円

● 重点実施項目

安全・品質レベルの向上とガバナンスの徹底

新たな挑戦への風土づくりと価値創出

人材確保と施工体制の強化

エンゲージメントと生産性の向上

環境・社会への貢献



鉄道電気工事

収益基盤強化 ▶ JR東日本をはじめJR各社からの受注拡大

- 設計支援、設備更新提案等の強化
- 耐震補強工事、駅周辺開発工事、プロジェクト工事等

事業領域拡大 ▶ 公民鉄常連顧客との関係強化と新たな顧客・業種への参入

- 変電所更新、無線式列車制御システム等の新技術工事、新線建設等

2027年3月期目標 (億円)

受注高	売上高	営業利益
1,171	1,178	76.1



一般電気工事

収益基盤強化 ▶ 常連顧客との関係強化による収益基盤の拡大

- 駅ビル、学校、病院等
- 設備老朽化更新に向けた設備診断等の提案強化

事業領域拡大 ▶ 全国の大型案件や将来の収益基盤となる分野への参入

- 全国の駅前大規模再開発、データセンター、半導体工場、リゾート施設等

2027年3月期目標 (億円)

受注高	売上高	営業利益
559	576	39.1



情報通信工事

収益基盤強化 ▶ ネットワーク工事とモバイル工事の受注拡大

- 各通信事業者の基地局工事での全国対応
- 駅前再開発、病院等の大型ネットワーク工事

事業領域拡大 ▶ インフラシェア事業[※]、監視運用業務などの収益拡大

- インフラシェアリングを駅や駅ビルから拡大し、商業施設、学校等街中へ展開
- 光ファイバ貸出を鉄道事業者と連携してデータセンター等へ全国展開
- NDKオペレーションセンターの設置により、ネットワーク工事、インフラシェア工事後の監視運用を全国展開

2027年3月期目標 (億円)

受注高	売上高	営業利益
315	321	23.7

※インフラシェア事業
 ・インフラシェアリング（携帯通信キャリアの共同接続）
 ・光ファイバ貸出（鉄道沿線の良質な光芯線の貸出）

環境エネルギー
工事

- 事業領域拡大 ▶ **新築・改修ZEBの受注拡大**
- 100%ZEBの自社業務用ビルを活用しJR東日本関連会社等へ提案強化
- ▶ **創エネルギー工事の受注拡大**
- JR東日本グループ会社、常連顧客等へ自家消費型太陽光発電の提案
 - 風力発電の自営線工事や系統用蓄電所工事の受注拡大
- ▶ **空調・衛生工事の全国展開に向けた強化**
- JR東日本関連ゼネコン等との関係強化による電・空・衛一括受注の拡大
 - 東北、中国・四国エリアでの受注を拡大して全国展開

2027年3月期目標 (億円)

受注高	売上高	営業利益
58	70	3.9



関連事業等

- 事業領域拡大 ▶ **環境負荷低減と地域社会への貢献**
- 施工現場で排出する資源のリサイクル事業化
 - ZEH賃貸マンションやリノベーション等環境に配慮した不動産事業の拡大
 - ZEBを導入し地域のレジリエンスを強化する自社業務用ビルの建設
- ▶ **新規事業の開発と不動産事業の強化**
- 本業との親和性の高い新規事業の開発
 - 収益性の高い不動産事業（事務所、商業等）への投資

2027年3月期目標 (億円)

受注高	売上高	営業利益
36	70	10.7

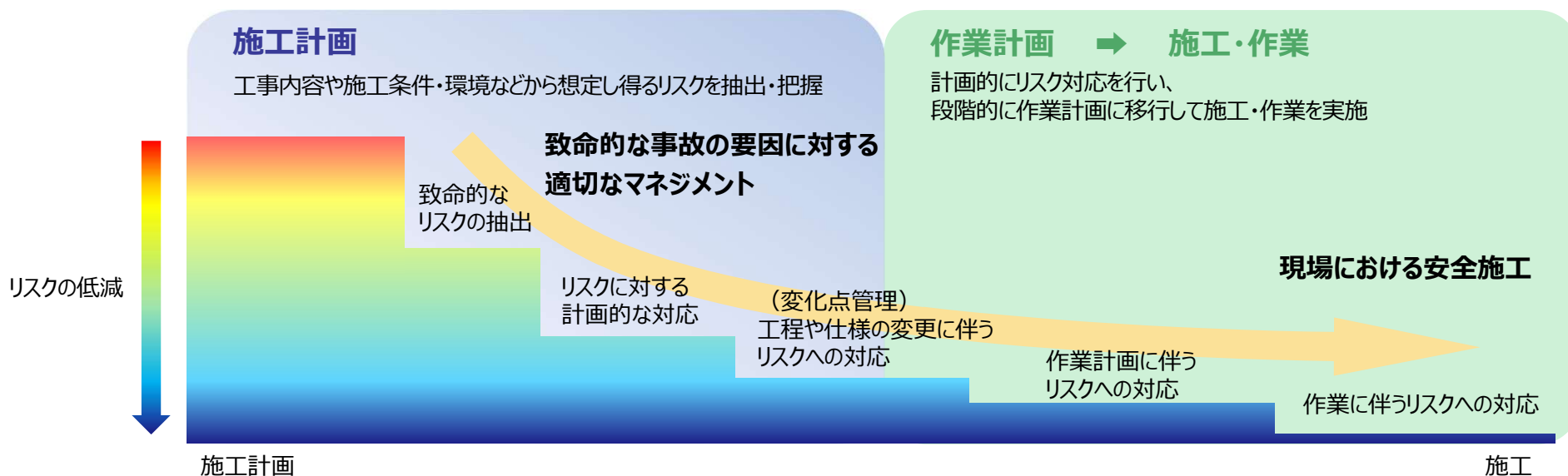
安全の取り組み

「安全は会社経営上の最重要課題」を不変の認識とし、社会インフラの構築や維持をとおして、

安全・安心な生活環境を社会に提供する

- 安全・安心で社会的に重要なインフラの創造
- 「鉄道運転事故」「第三者傷害」「重大な労働災害（触車・感電・墜落・死亡事故）」
「重大な輸送障害・重大な設備障害・営業重大事故」の撲滅

段階的なリスク低減



多様な人材の確保と従業員エンゲージメントの向上

2031年度目標：工事従事者数 20%増（2023年度比）
：女性社員における管理職比率を男性社員と同等

 新卒・中途採用における対象者の拡大

- 文系学生の技術職採用の増加
- 派遣会社や第二新卒など未経験者からの採用
 - ▶ 新卒採用人数（計画）100名/年 ▶ 110名/年
 - ▶ 中途採用人数（計画）13名/年 ▶ 20名/年

 多様な人材が能力を発揮できる環境の構築

- 社員がより活躍できる制度の創設
- 女性活躍の推進 技術職を毎年度2名以上採用
 - ▶ 2024年度にえるばし認定の取得目標

2031年度目標：エンゲージメントスコアAAA
：健康経営優良法人ホワイト500の取得

 健康で快活な職場づくり

- 時間外労働の上限規制適用に先駆けて2022年度より対策
 - モバイルワークの促進、勤務間インターバルの導入
 - ▶ 2023年度にて上限規制を達成
- メンタルヘルス対策の促進
- 育児休暇取得の推進 男性の育児休暇取得率70%
 - ▶ 2025年度にくるみん認定の取得目標
- 快適な職場環境の構築
 - 長野支社ビルなど、自社業務用ビルの建て替え

2024年3月に
「健康経営優良法人
2024」認定



人材育成

 若手社員教育の充実と早期成長

- 若手育成におけるOJT期間や教育プログラムの見直し
 - ▶ 新入社員教育 年間：12,488人日
 - ▶ 専門教育 年間：4,546人日
- 新卒、中途、未経験者など多様な人材・経験に合わせた育成プログラムの策定

 教育環境の拡充

- 中央学園の新宿泊棟建設
- 中央学園実習施設の追加・更新



新宿泊棟（2024年12月完成予定）

施工体制強化

◎ 現場業務効率化による生産性の向上

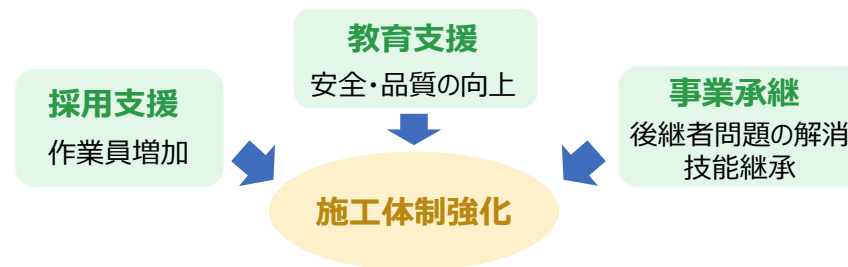
- バックオフィスによる現場支援体制の強化



- ・ 業務の効率化、平準化
- ・ 現場業務の負担軽減と生産性向上

◎ 協力会社の体制強化による施工能力の向上

- ホームページの作成、外国人作業員の採用など、採用活動の支援
- 中央学園の実習施設での安全教育の強化



DX・技術開発

◎ DX人材の育成と促進

- DX組織の編制と人材育成による内製化促進とITリテラシーの向上
- 生成AIなど新たなテクノロジーの活用

◎ 「NDK施工技術のDXビジョン2031」の推進

- ドローン、3Dスキャン等による調査測量
- BIMやAIを活用した施工計画、積算設計
- センサやAIカメラによる作業員の安全管理
- ロボット、IoT建機との協働による作業負担軽減と省人化
- モバイル端末とロボットによる施工後確認と記録



NDK施工技術のDXビジョン2031

施工ステップに応じた、最新技術の導入や新規開発で安全・省力化・生産性向上を目指す

事業活動におけるGHG排出量削減

2030年度におけるScope1,2の排出量50%削減（2013年度比）

省エネルギー中期計画に則った省エネ設備投資の実施

- 自社業務用ビルのZEB導入の推進
 - ▶ 長野支社ビルZEB化建替、NDK大宮ビル改修ZEB化
- 太陽光発電設備の設置
 - ▶ 中央学園新宿泊棟に設置
- 高効率空調設備への更新
 - ▶ NDK王子ビル、NDK多摩川ビルで実施
- 業務用自動車の更新
 - ▶ ガソリン車からハイブリット車へ変更（2029年度までに95%）

環境エネルギー工事での環境負荷低減

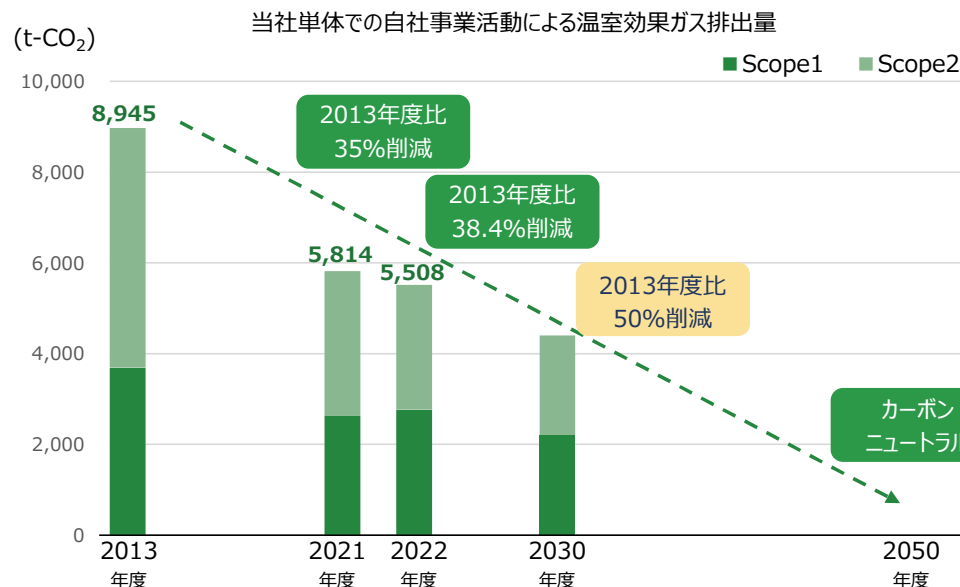
省エネ対策工事の提案

- ZEB認証取得の支援にZEBプランナーとして参画

風力発電設備など創エネルギー工事への参画

- 折爪岳風力発電への参画

風車内～自営送電線～変電所設備における電気設備工事



地域社会への貢献

地域社会貢献活動の基本方針の策定と推進

地域社会との共生を実現する自社業務用ビルの建設

- レジリエンス強化型、地域コミュニティ活用スペースなどの導入

地域コミュニティに貢献できる新規事業の開発

- 現場で排出する資源のリサイクル事業

リスクマネジメント体制の再構築

- 現行のリスク管理体制の検証および再構築
- 契約書審査業務の効率化
 - AI契約書審査サービスの活用
- 海外法人との契約に向けた対応
 - 英文契約書等のリスクに対応するAIツールの導入

BCPの維持強化

- 地震以外の災害にも対応できる「オールハザード型」の内容に更新
- グループ会社を含む「NDKグループ」としてのBCP実効力の強化
- 大規模災害時における顧客インフラ設備の復旧対応の強化
 - JR東日本と共同で防災訓練を実施



不祥事の発生防止

- 社員教育によるコンプライアンス意識向上と法令順守の徹底
 - 教育システムを用いたコンプライアンス教育の継続・強化
- 情報セキュリティの維持強化
 - 新セキュリティ基盤の構築による強固な安全性の確保

実効的なコーポレートガバナンスの実現

- 開示書類の英文による開示
- 投資家との対話の機会を増やすなど、情報発信力の強化

5 2024年3月期決算概要(連結) 2025年3月期業績予想(連結)



決算サマリー



事業環境

- 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、公共投資は底堅く推移、民間設備投資も回復傾向
- 都市圏の再開発、既設インフラの老朽化対策が進む



当期実績

- 大型工事の順調な進捗と選別受注等による採算性の向上で増収増益を達成
- 好調な受注のもと次期繰越高は高水準を維持



配当額は増額

- 中期経営計画最終年度に利益のV字回復を達成し、配当額は従来予想42円に特別配当5円を加え、47円に増額

5 2024年3月期決算概要（連結）

決算のポイント

- 受注高は2,080億円と予想を大きく上回り、前期比でも増加
- 売上高は1,940億円と予想を上回り、前期比でも増加
- 経常利益も149億円と予想を上回り、前期比大幅増益
- 豊富な手持工事を抱え、次期繰越高は1,737億円と予想を大きく上回り、前期比でも増加

(())は売上高比率、単位：百万円

	2023年3月期実績		2024年3月期予想 (A)		2024年3月期実績 (B)		対予想比 (B-A)	
期首繰越高	144,574		156,811		156,811		—	—%
受注高	182,693		173,130		208,036		34,906	20.2%
売上高	172,100		192,450		194,031		1,581	0.8%
売上総利益	23,917	(13.9%)	28,120	(14.6%)	28,509	(14.7%)	389	1.4%
販売費及び一般管理費	14,258	(8.3%)	14,650	(7.6%)	15,060	(7.8%)	410	2.8%
営業利益	9,658	(5.6%)	13,470	(7.0%)	13,448	(6.9%)	▲21	▲0.2%
営業外損益	1,245	(0.7%)	940	(0.5%)	1,452	(0.7%)	512	54.5%
経常利益	10,903	(6.3%)	14,410	(7.5%)	14,900	(7.7%)	490	3.4%
特別損益	62	(0.0%)	▲70	(▲0.0%)	540	(0.3%)	610	—%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,171	(4.2%)	9,420	(4.9%)	10,042	(5.2%)	622	6.6%
次期繰越高	156,811		140,190		173,719		33,528	23.9%

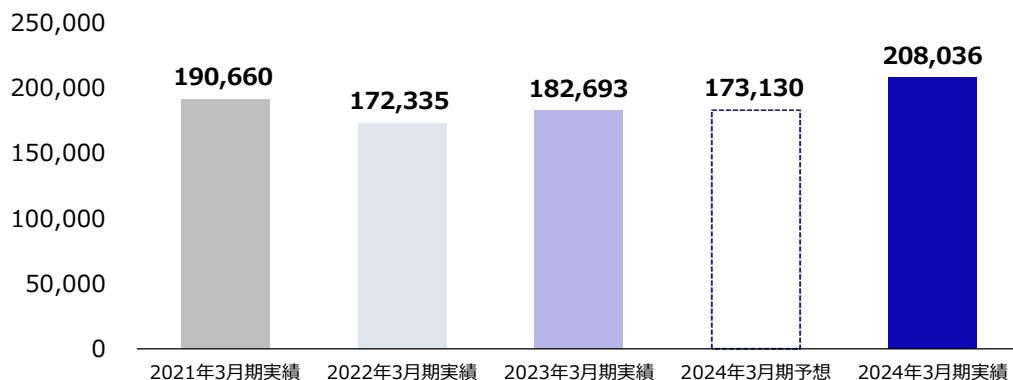
※ (A) は、2023年3月期決算説明会時に発表した予想値であり、当時の当社をとりまく環境を勘案し、「日本電設3ヶ年経営計画2021」発表時の計画値より変更しています。

5 2024年3月期決算概要（連結）

(単位：百万円)

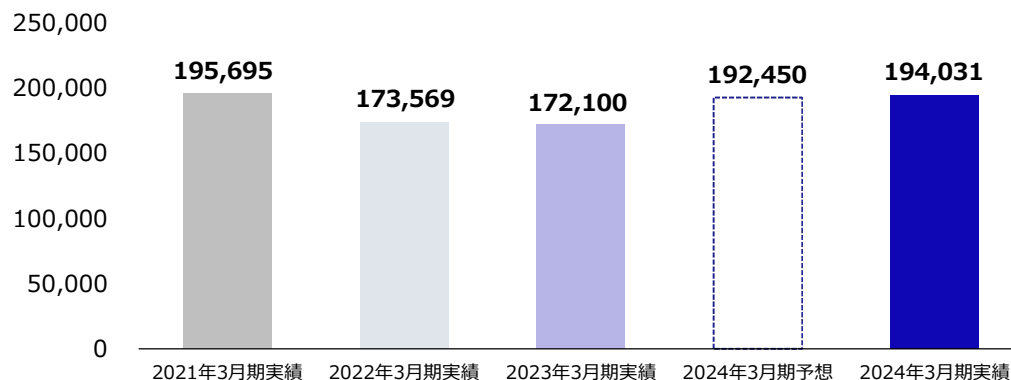
受注高

対前期比+253億円 対予想比+349億円



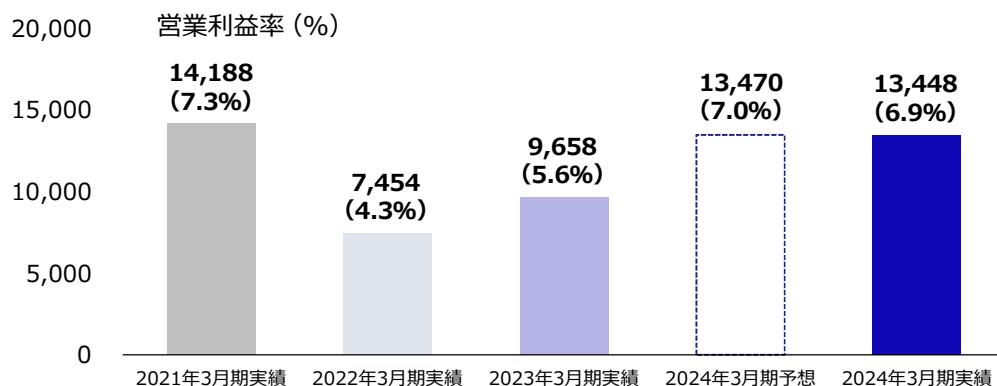
売上高

対前期比+219億円 対予想比+15億円



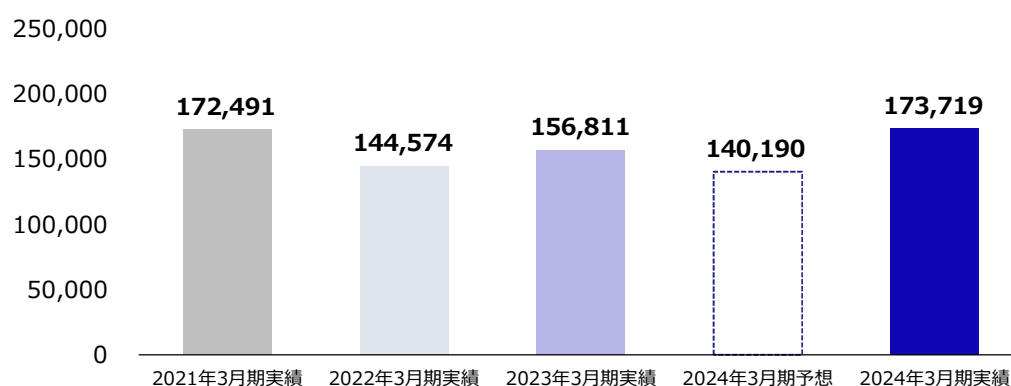
営業利益

対前期比+37億円 対予想比▲0億円



次期繰越高

対前期比+169億円 対予想比+335億円



※「2024年3月期予想」は、2023年3月期決算説明会時に発表した予想値であり、当時の当社をとりまく環境を勘案し、「日本電設3ヶ年経営計画2021」発表時の計画値より変更しています。

事業サマリー



鉄道電気工事

- 受注高は各鉄道事業者の投資の回復により増加
- 売上高はJR各社からの受注回復により前期比で増加
- 営業利益は豊富な手持工事と採算性の改善により増加
- 次期繰越高は好調な受注を背景に増加



一般電気工事

- 受注高は良好な受注環境のもと選別受注を行いつつも増加
- 売上高は大型工事の順調な進捗により増加
- 営業利益は豊富な手持工事と採算性の改善により増加
- 次期繰越高は好調な受注を背景に大幅増加



情報通信工事

- 受注高はネットワーク関連工事への積極的な営業展開により増加
- 売上高は大型工事の順調な進捗により増加
- 営業利益は手持工事の効率的な施工により増加
- 次期繰越高は前期並みを確保

5 2025年3月期業績予想（連結）

業績予想のポイント

- 常連顧客はもとよりターゲットを定めた営業展開により高水準の受注を確保
- 豊富な手持工事を背景に過去最高となる売上高2,051億円を確保し、営業利益146億円を目指す

(())は売上高比率、単位：百万円

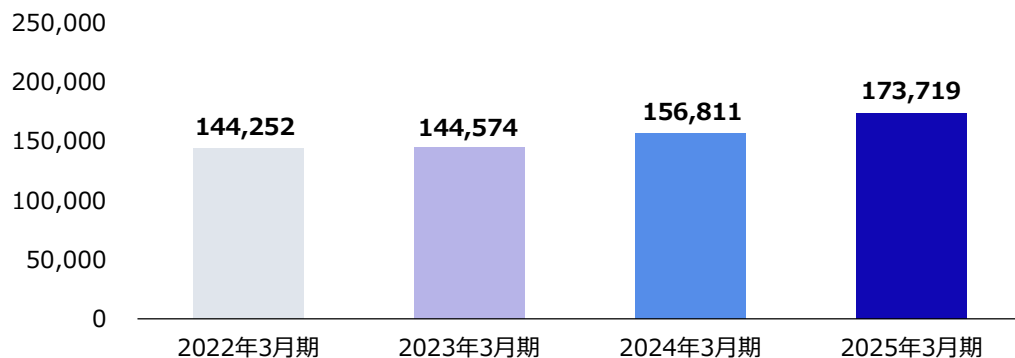
	2024年3月期実績	2025年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	156,811	173,719	16,907	10.8%
受注高	208,036	197,100	▲10,936	▲5.3%
売上高	194,031	205,160	11,128	5.7%
売上総利益	28,509 (14.7%)	31,540 (15.4%)	3,030	10.6%
販売費及び一般管理費	15,060 (7.8%)	16,870 (8.2%)	1,809	12.0%
営業利益	13,448 (6.9%)	14,670 (7.2%)	1,221	9.1%
営業外損益	1,452 (0.7%)	1,160 (0.6%)	▲292	▲20.1%
経常利益	14,900 (7.7%)	15,830 (7.7%)	929	6.2%
特別損益	540 (0.3%)	30 (0.0%)	▲510	▲94.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,042 (5.2%)	10,500 (5.1%)	457	4.6%
次期繰越高	173,719	168,883	▲4,836	▲2.8%

5 2025年3月期業績予想（連結）

(単位：百万円)

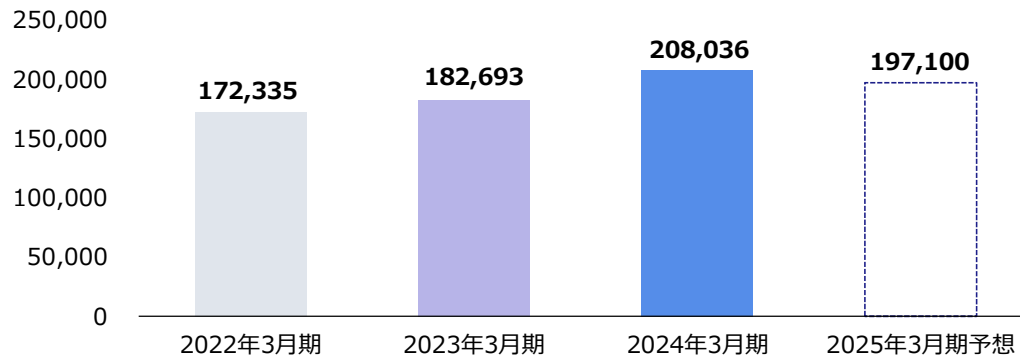
期首繰越高

対前期比+169億円



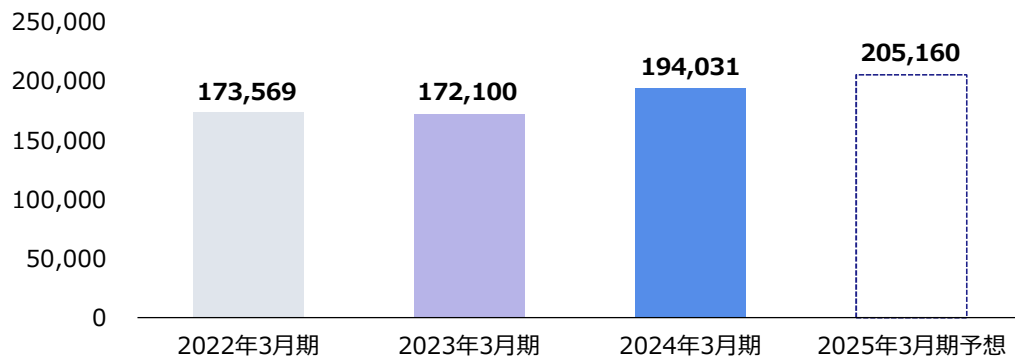
受注高

対前期比▲109億円



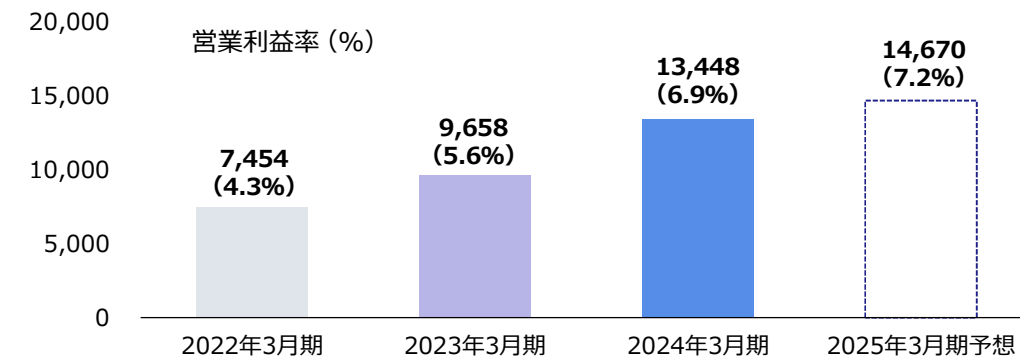
売上高

対前期比+111億円

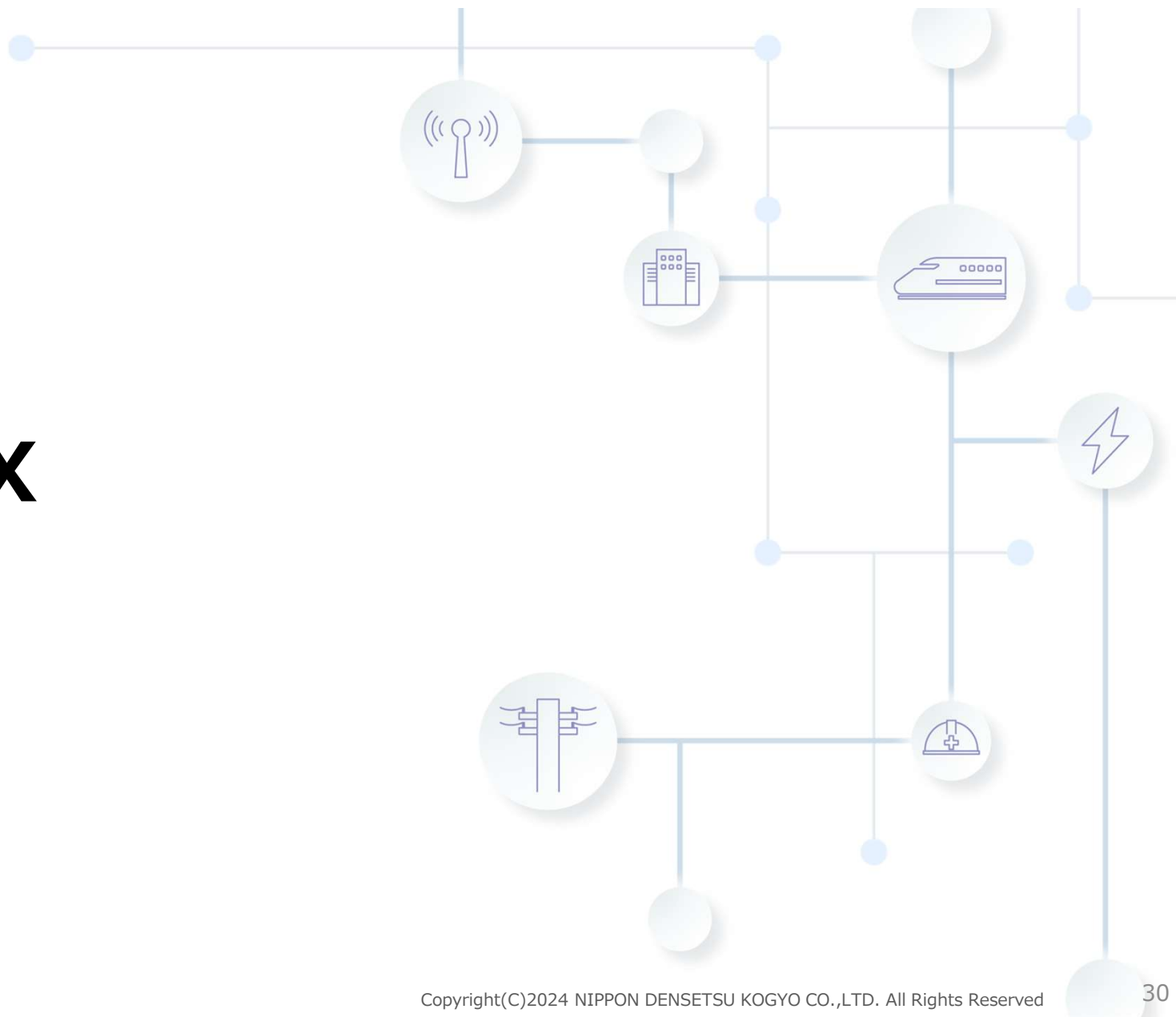


営業利益

対前期比+12億円



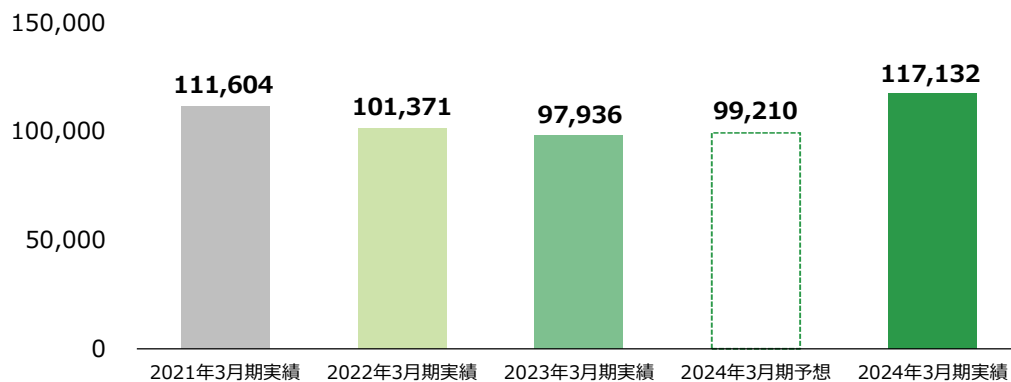
Appendix



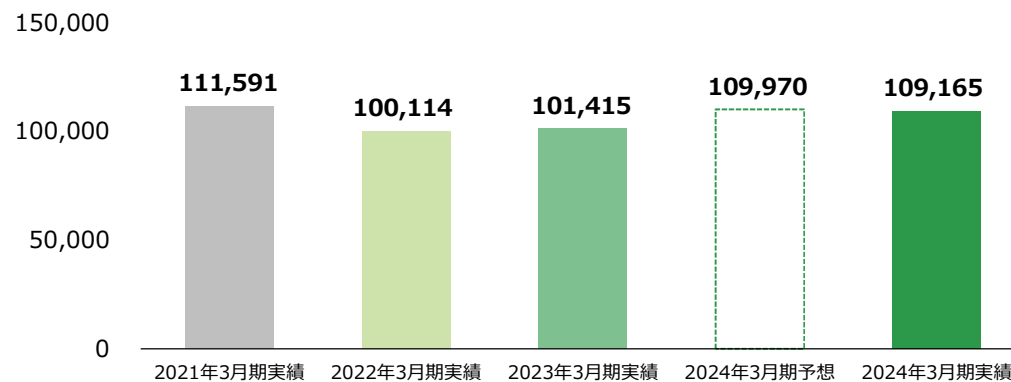
(単位：百万円)

 受注高

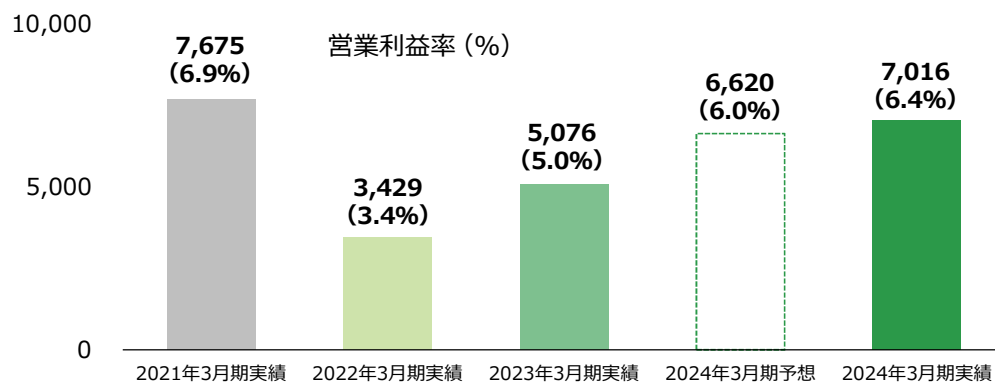
対前期比+191億円 対予想比+179億円


 売上高

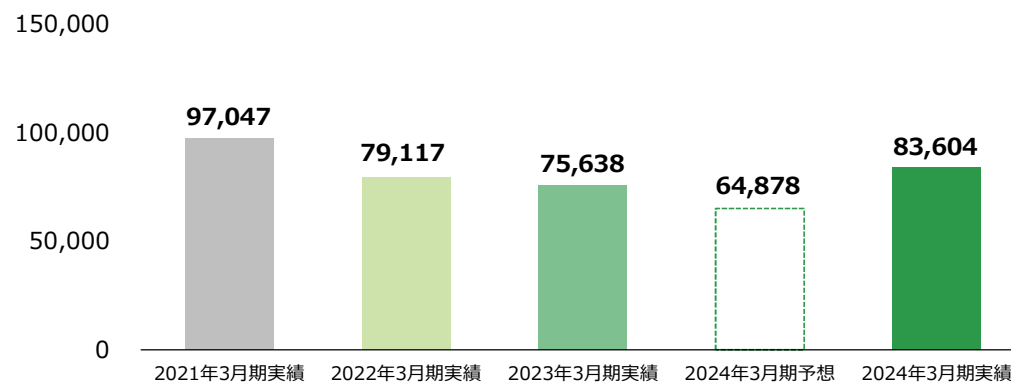
対前期比+77億円 対予想比▲8億円


 営業利益

対前期比+19億円 対予想比+3億円


 次期繰越高

対前期比+79億円 対予想比+187億円



 受注・売上高（個別）

（単位：億円）

JR東日本		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
	受注高	595	440	495	626
売上高	584	519	502	537	

公民鉄		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
	受注高	103	193	130	127
売上高	100	119	163	144	

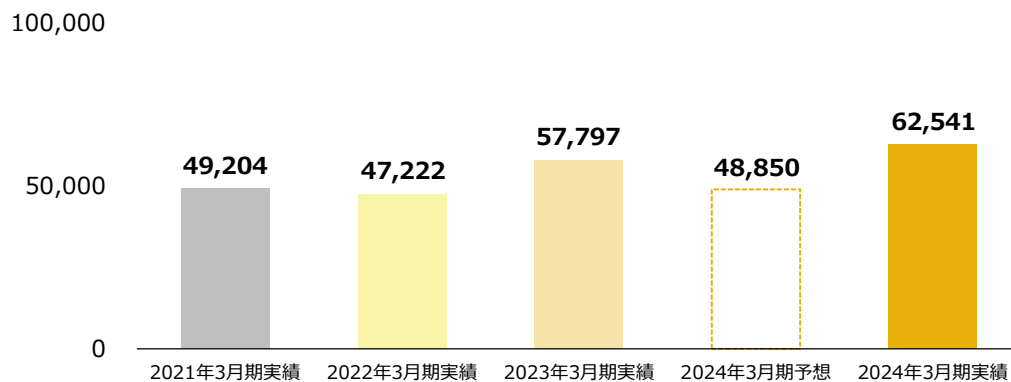
その他JR		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
	受注高	53	36	36	76
売上高	53	47	34	54	

整備新幹線		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
	受注高	34	19	16	4
売上高	32	43	44	40	

(単位：百万円)

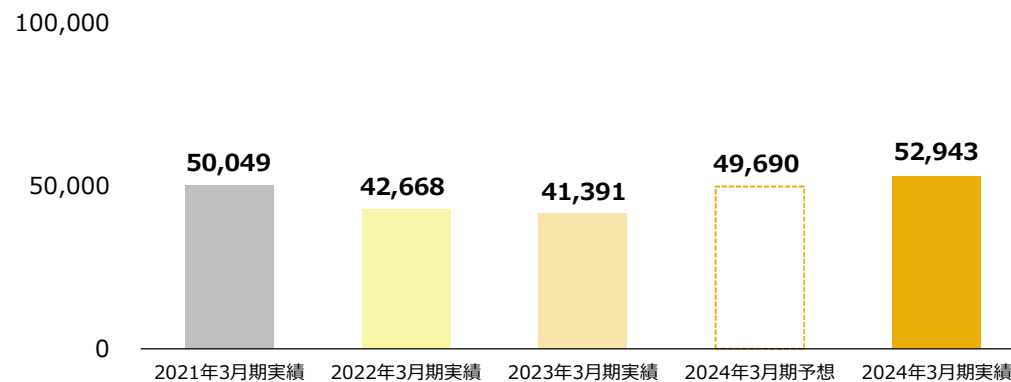

 受注高

対前期比+47億円 対予想比+136億円



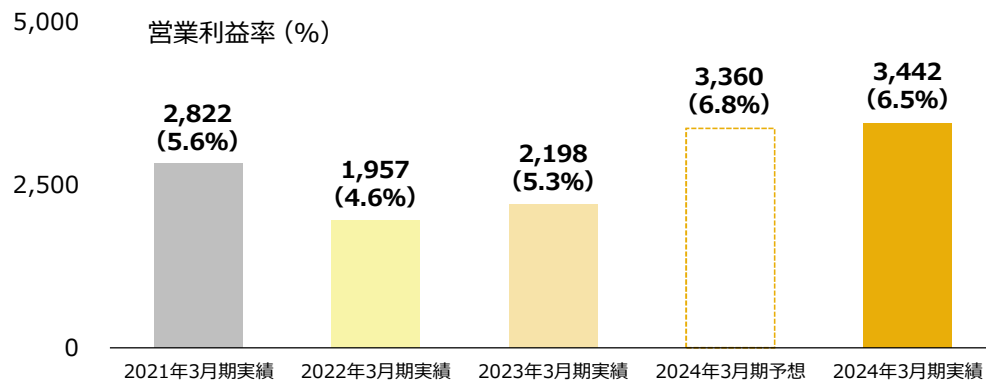
 売上高

対前期比+115億円 対予想比+32億円



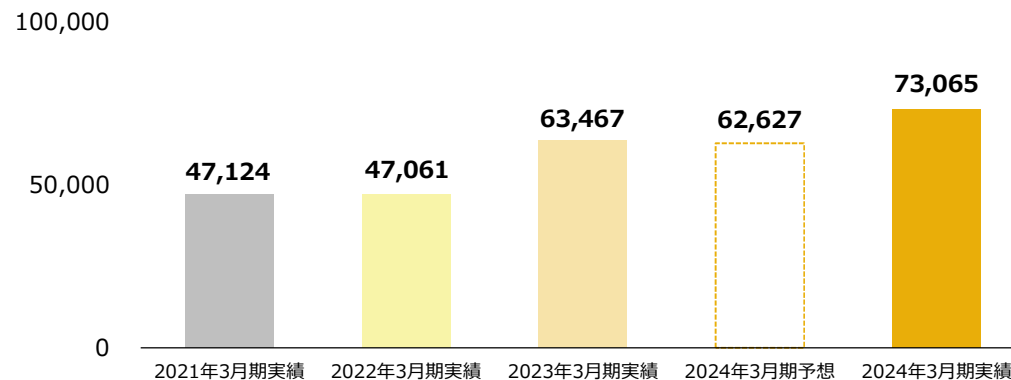
 営業利益

対前期比+12億円 対予想比+0億円



 次期繰越高

対前期比+95億円 対予想比+104億円

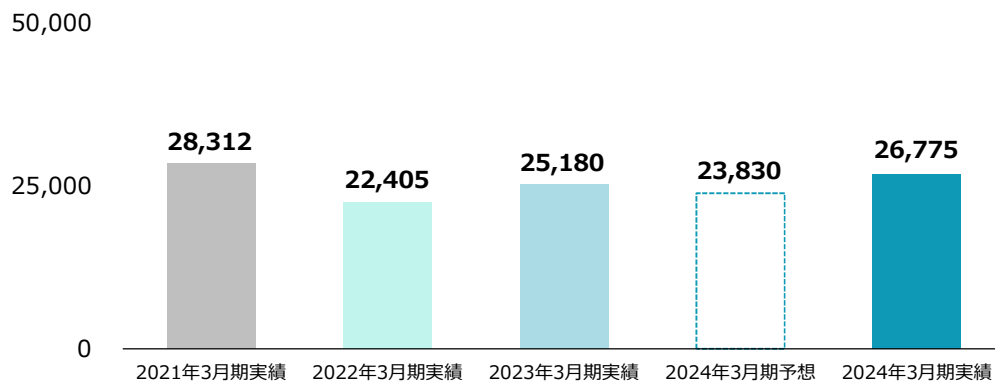




(単位：百万円)

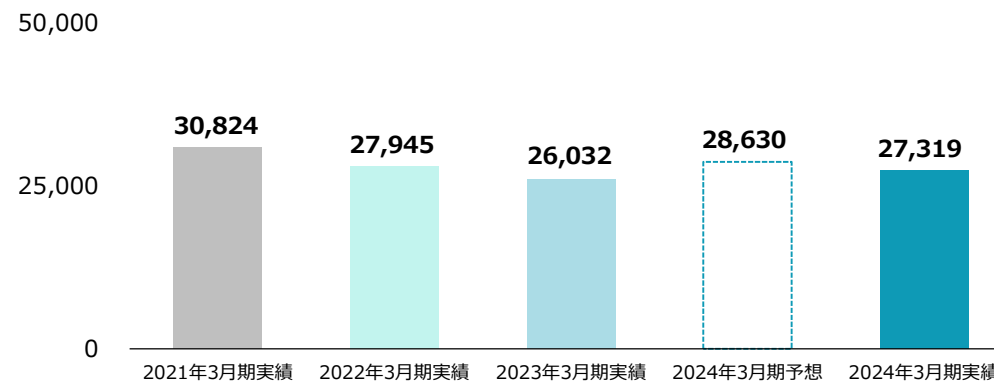
受注高

対前期比+15億円 対予想比+29億円



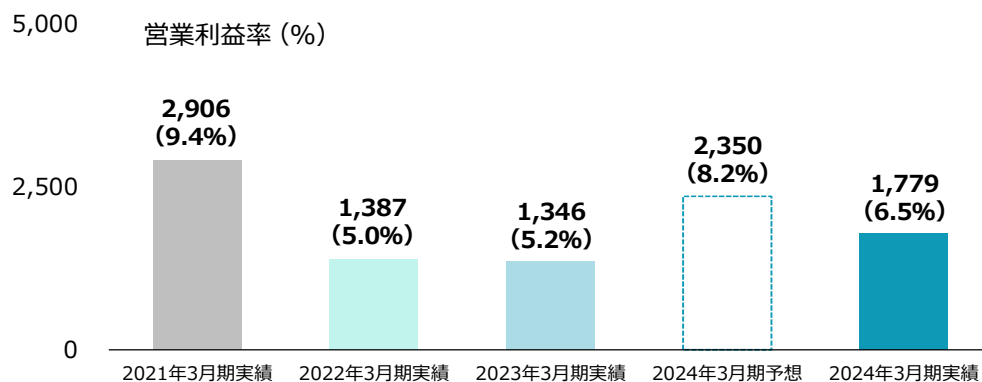
売上高

対前期比+12億円 対予想比▲13億円



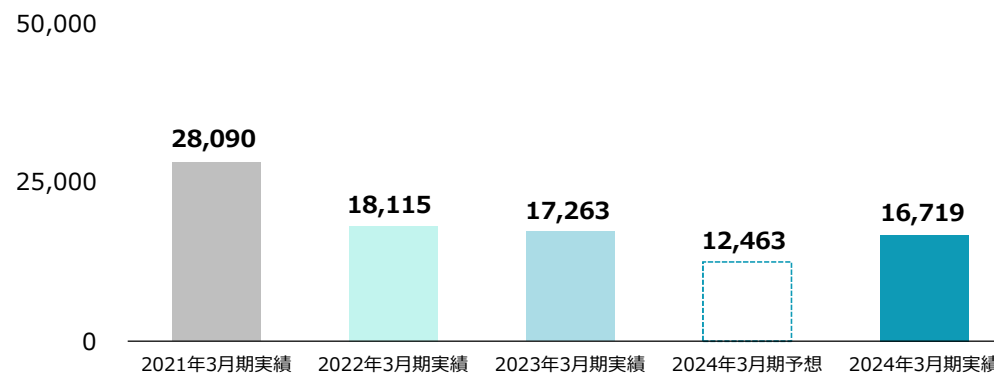
営業利益

対前期比+4億円 対予想比▲5億円



次期繰越高

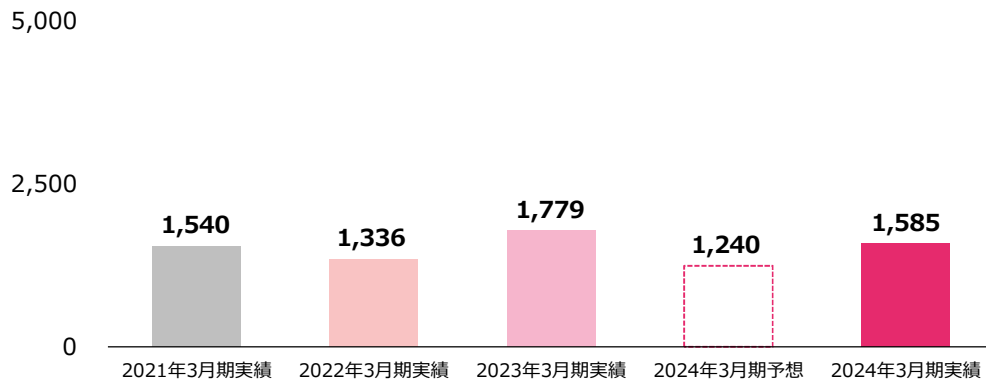
対前期比▲5億円 対予想比+42億円



6 関連事業等の実績

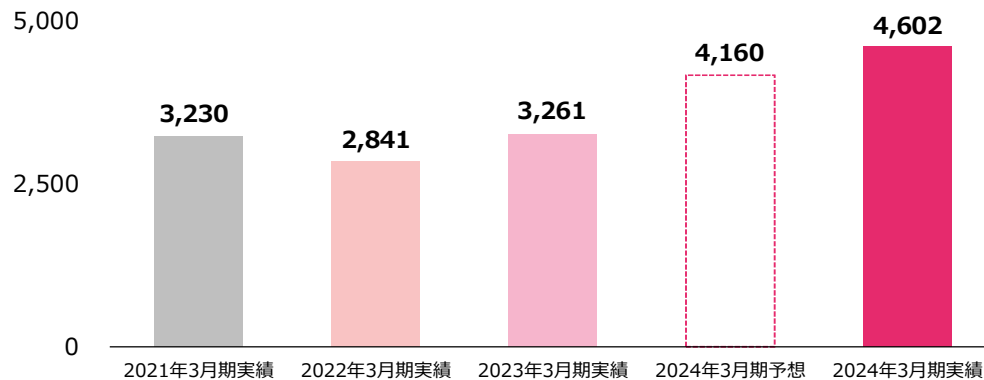
受注高

対前期比▲1億円 対予想比+3億円



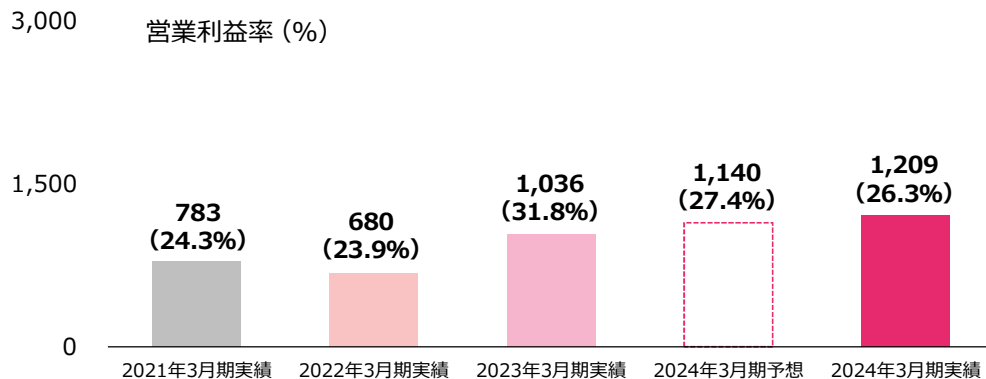
売上高

対前期比+13億円 対予想比+4億円



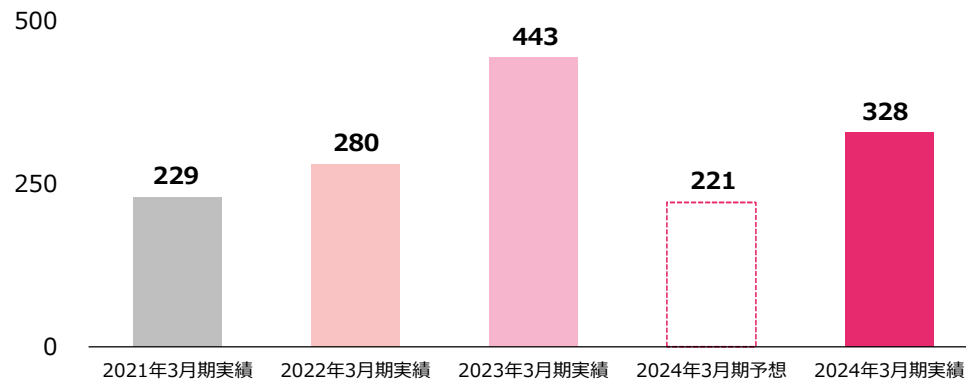
営業利益

対前期比+1億円 対予想比+0億円



次期繰越高

対前期比▲1億円 対予想比+1億円



6 部門別概況

● 鉄道電気工事（JR、公民鉄）

工事件名		2025年3月期 (2024年度)	2026年3月期 (2025年度)	2027年3月期 (2026年度)
NEW	JR東日本 蕨・王子間地中送電線路取替工事	▶		
	JR東日本 新幹線福島駅上りアプローチ線	▶		
	JR北海道 吉岡定点電車線き電特高ケーブル取替 2	▶		
NEW	JR西日本 河瀬構内き電吊架線新設他工事 1	▶		
NEW	JR四国 松山駅付近高架化に伴う電気設備工事	▶		
NEW	JR九州 遠賀川・海老津間高圧配電線路改良	▶		
	東京都交通局 浅草線大門変電所変電設備更新工事	▶		
NEW	東京メトロ 和光変電所設備機器改良工事	▶		
	横浜市交通局 片倉変電所更新に伴う電線路工事（その2）	▶		
	名古屋市交通局 浄心変電所受電設備等更新工事（設備更新）	▶		
	大阪市高速電気軌道 地下鉄中央線 夢洲～コスモスクエア間サードレール工事	▶		
NEW	大阪市高速電気軌道 1・4号線本町駅駅施設改造に伴う電気工事及びその他工事	▶		
	沖縄モノレール 3両化に伴うインフラ外電気設備工事	▶		

6 部門別概況

一般電気工事、情報通信工事、環境エネルギー工事

工事件名		2025年3月期 (2024年度)	2026年3月期 (2025年度)	2027年3月期 (2026年度)
JR東日本	JR東京総合病院病棟建替電気設備新設他工事	▶		
駅前再開発	うめきた2期区域開発事業北街区賃貸棟電気設備工事	▶		
駅前再開発	TAKANAWA GATEWAY CITY 地域エネルギー供給電気設備工事 THE LINKPILLAR 2 (複合棟Ⅱ) 新築工事	▶		
防衛関連	馬毛島(R4)飛行管理棟等新設電気その他工事	▶		
官公庁	丸亀市(仮称)みんなの劇場新築に伴う電気設備工事	▶		
NEW 官公庁	いこいと学びの交流テラス新築電気設備工事	▶		
高速道路	新東名高速道路 湯船原トンネル~新御殿場IC間 照明設備工事	▶		
NEW 空港	長崎空港滑走路灯改良その他工事	▶		
病院	カレス記念病院建設工事	▶		
NEW 電気・空調・衛生	仙建工業 新研修センター建設工事(電気設備・機械設備)	▶		
NEW 創エネ	JR東日本クロスステーション みなかみ工場屋根上太陽光発電設備設置工事	▶		
移動体通信	通信事業者各社の移動体通信基地局建設工事	▶		
ネットワーク	TAKANAWA GATEWAY CITY ICT・街区共通設備(複合棟Ⅱ)	▶		

6 部門別概況

◎ 主な鉄道関係プロジェクト工事

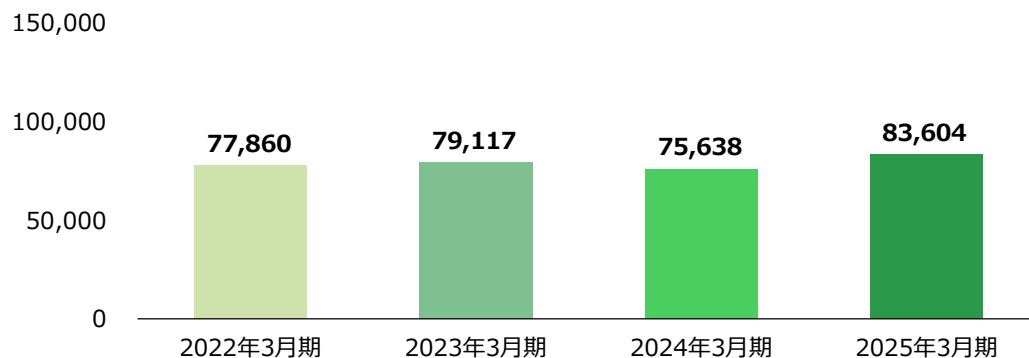
工事件名		2024年 3月期 (2023年度)	2025年 3月期 (2024年度)	2026年 3月期 (2025年度)	2027年 3月期 (2026年度)	2028年 3月期 (2027年度)	2029年 3月期 (2028年度)
JR施策	羽田空港アクセス線（東山手ルート、アクセス新線）	支障移転工事 → 2031年度開業予定（JR東日本）					
	無線式列車制御システム（ATACS）	京浜東北線（川口・大宮間）					
	新幹線電化柱耐震補強（鋼管柱建替）	東北新幹線（大宮・小山間） → 2021年度～2027年度までに約4,000本、 2028年度～2033年度までに約4,000本の施工計画（JR東日本）					
	新幹線高速化（シンプル架線化）	東北新幹線（上野・大宮間） → 古川～盛岡間、上越新幹線 大宮～本庄早稲田間の施工計画（JR東日本）					
	鉄道電気設備の老朽化対策（維持・更新）	鉄道電気設備の経年劣化に伴う各種設備の改修等					
	新たなSuica改札システム（ネットワーク・監視保守）	→ 首都圏・仙台・新潟エリア 2023年度夏以降に順次導入計画（JR東日本）					
TAKANAWA GATEWAY CITY 4街区インフラシア新設工事	→						
駅前再開発プロジェクト（首都圏、北海道等）	情報収集						
公民鉄施策	変電所設備更新工事	→					
	新たな顧客・業種への参入	→					
	新線延伸（東京メトロ 有楽町線延伸、南北線延伸）	情報収集 2030年代半ば開業目標					
	新線延伸（宇都宮LRT 西側延伸）	情報収集 2027年度以降着工予定、2030年代前半開業目標					
新線延伸（北海道新幹線 札幌延伸）	情報収集 2030年度未完成予定						



(単位：百万円)

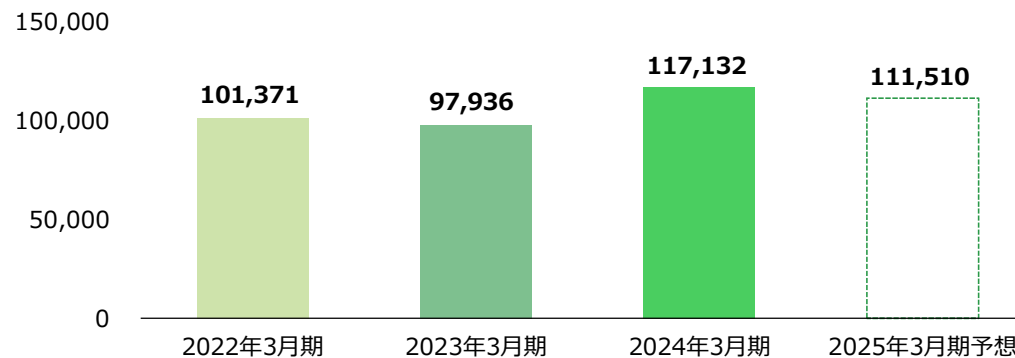
期首繰越高

対前期比 +79億円



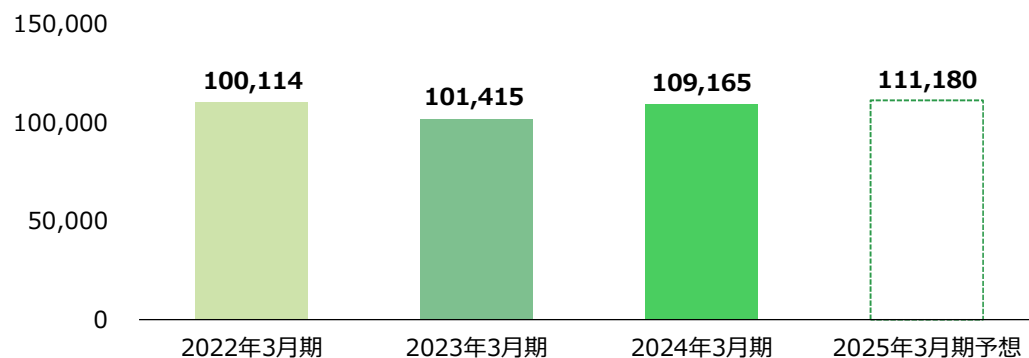
受注高

対前期比 ▲56億円



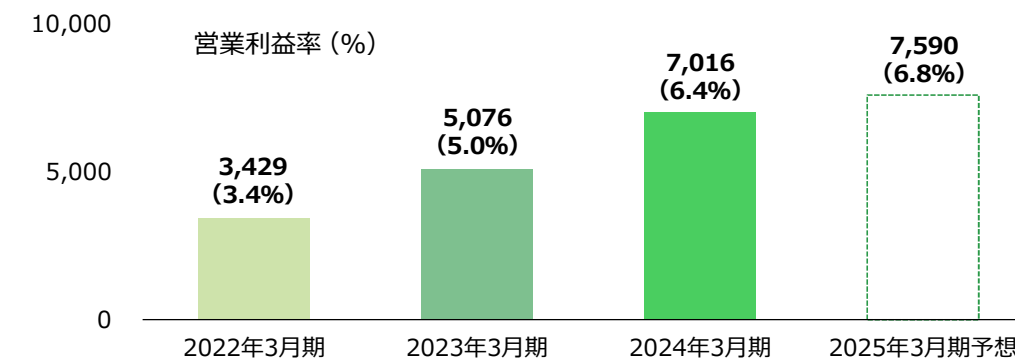
売上高

対前期比 +20億円



営業利益

対前期比 +5億円



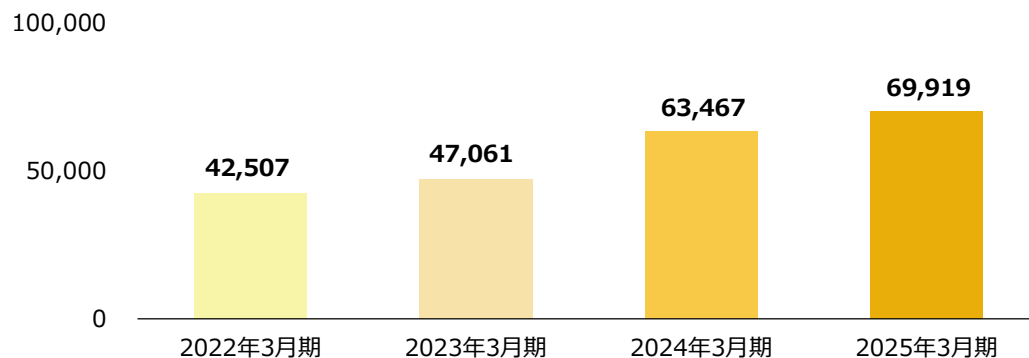
- JR各社からの受注を着実に確保しつつ、公民鉄事業者からの受注拡大を目指す
- 豊富な手持工事を背景に増収・増益を目指す



(単位：百万円)

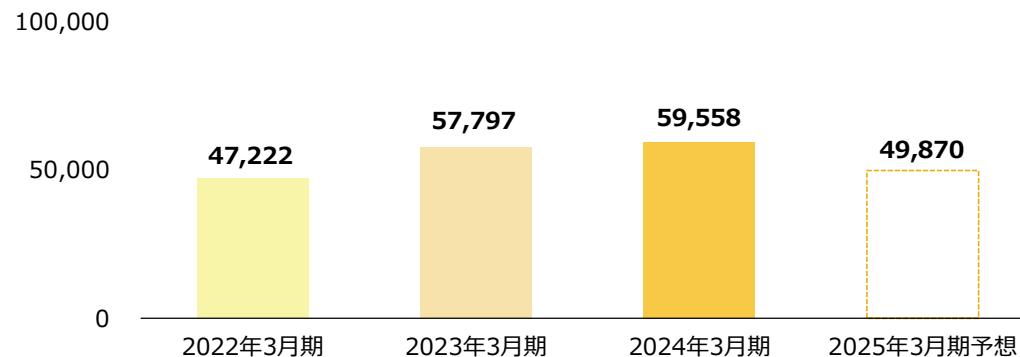
期首繰越高

対前期比 +64億円



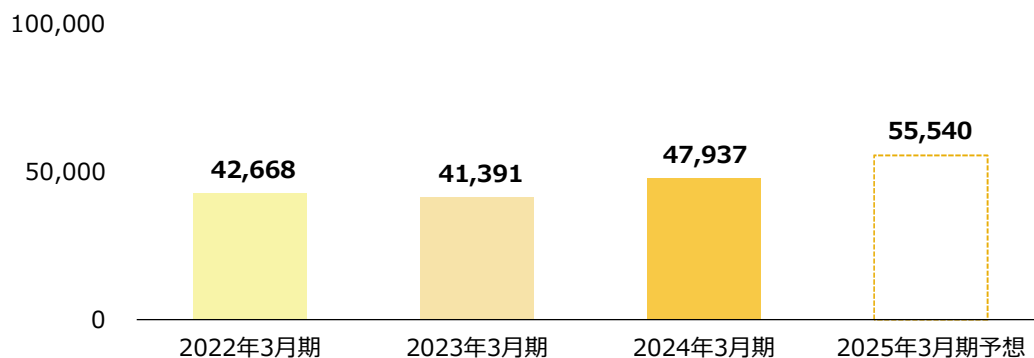
受注高

対前期比 ▲96億円



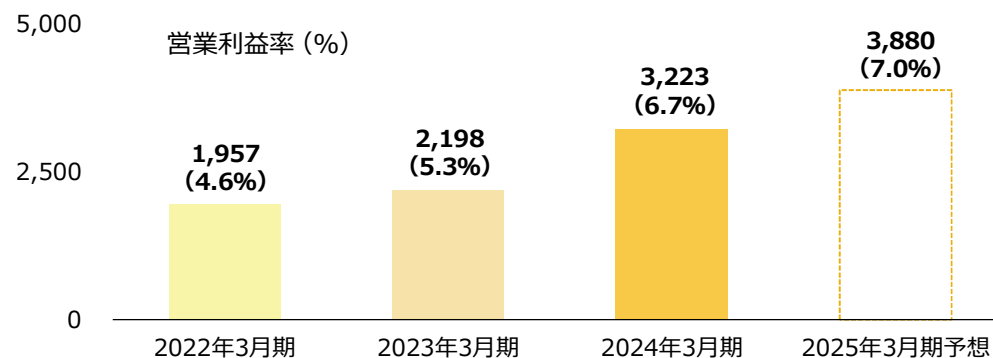
売上高

対前期比 +76億円



営業利益

対前期比 +6億円



- データセンター等の成長領域に積極的な営業展開を図り、採算を確保しつつ高水準の受注高を維持
- 豊富な手持工事を背景に増収・増益を目指す

※2023年3月期までの各実績および2024年3月期の期首繰越高には環境エネルギー工事を含む

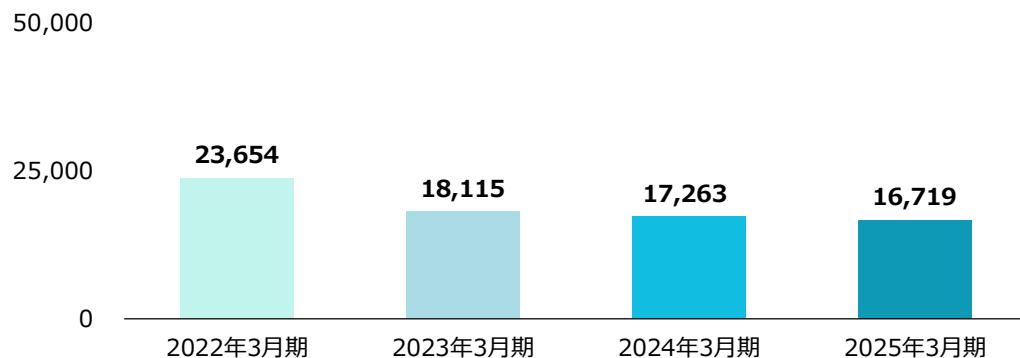
Copyright(C)2024 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved

6 情報通信工事の予想

(単位：百万円)

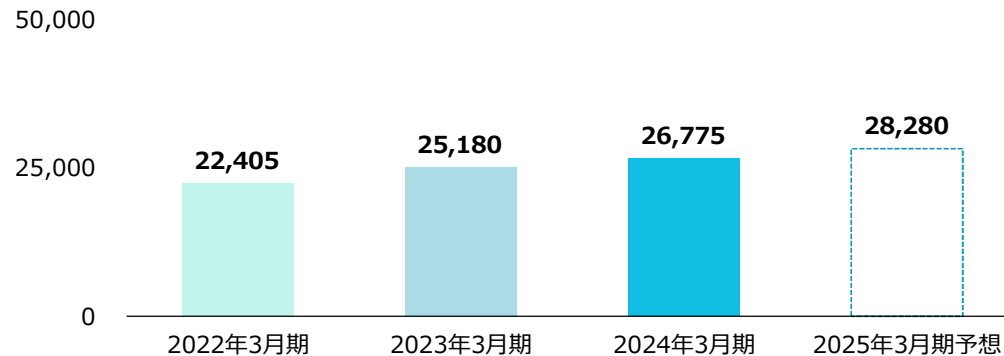
期首繰越高

対前期比 ▲5億円



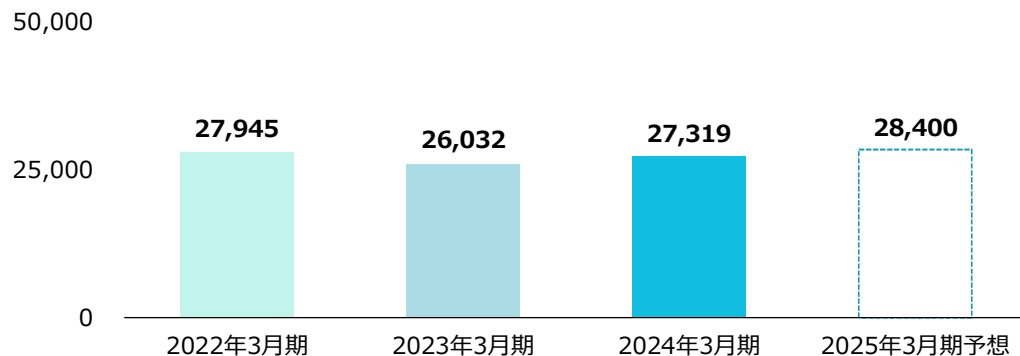
受注高

対前期比 +15億円



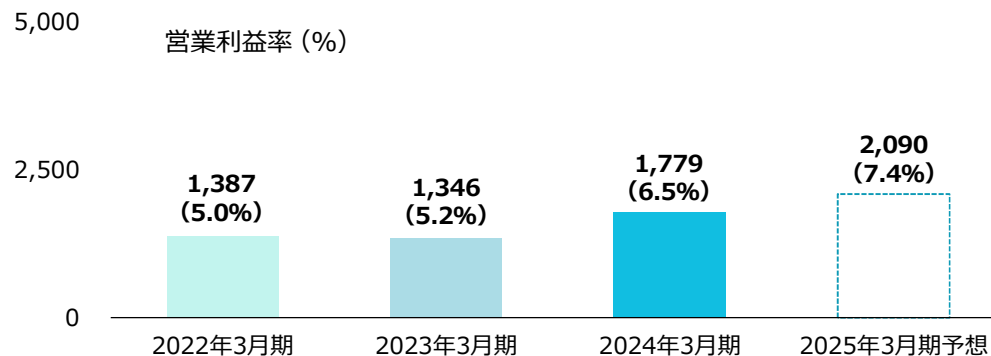
売上高

対前期比 +10億円



営業利益

対前期比 +3億円



- ネットワーク関連工事およびインフラシェア事業の積極的な営業展開により受注高を維持
- 効率的な施工と工事採算性の改善により増収・増益を目指す

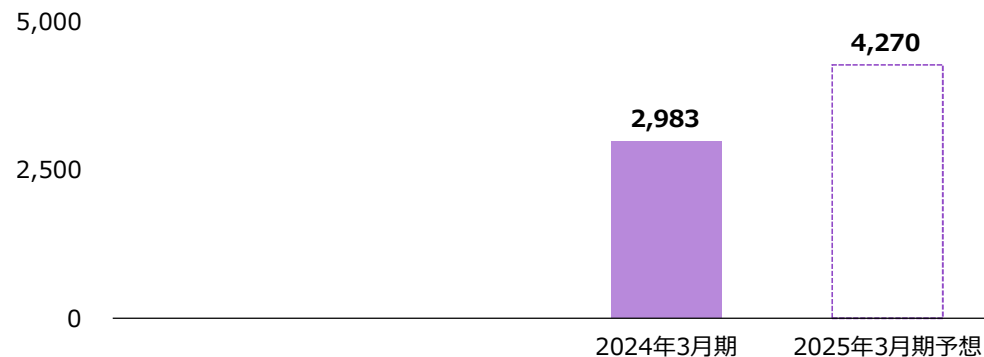


(単位：百万円)

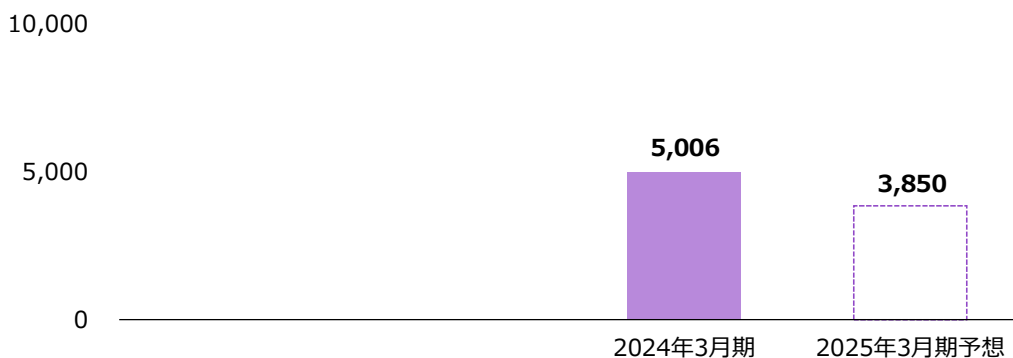
期首繰越高



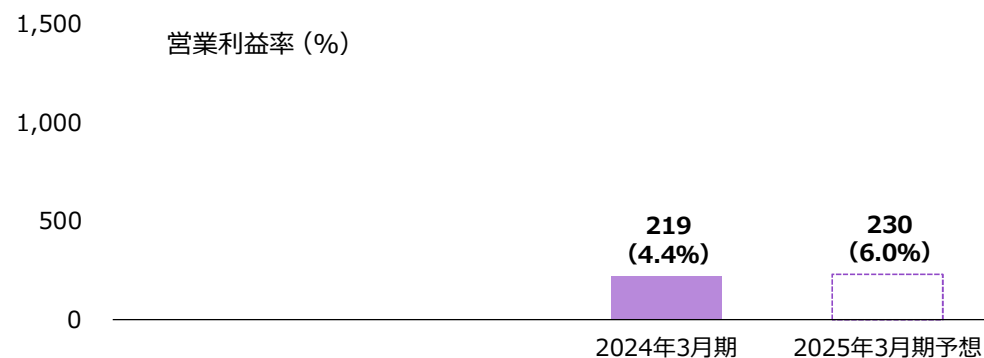
受注高



売上高



営業利益



●再生可能エネルギー工事の豊富な実績に加え、ZEBリーディング・オーナーおよびZEBプランナーとしての技術力を活かし、環境エネルギー工事分野における受注拡大を目指す

※2023年3月期までの各実績は一般電気工事を含むため非掲載

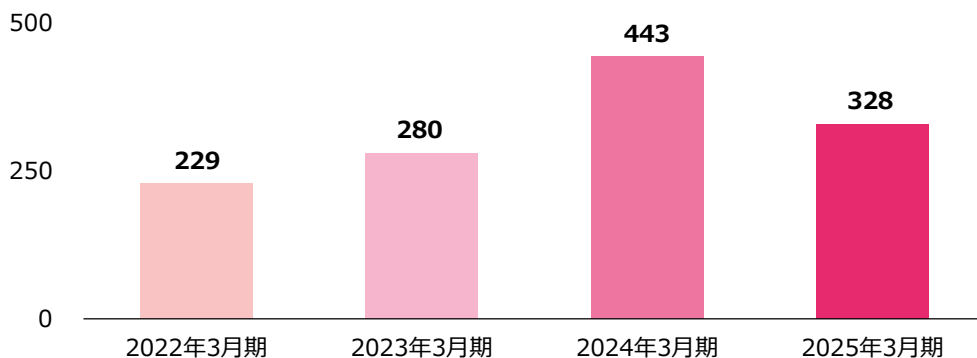
Copyright(C)2024 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved

6 関連事業等の予想

(単位：百万円)

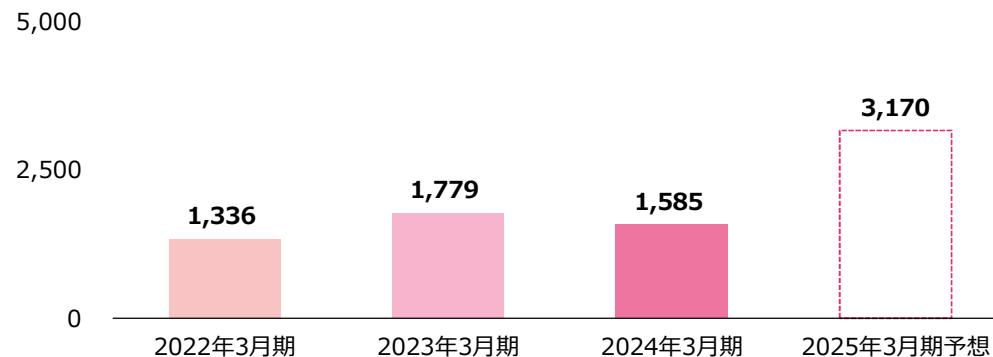
期首繰越高

対前期比 ▲1億円



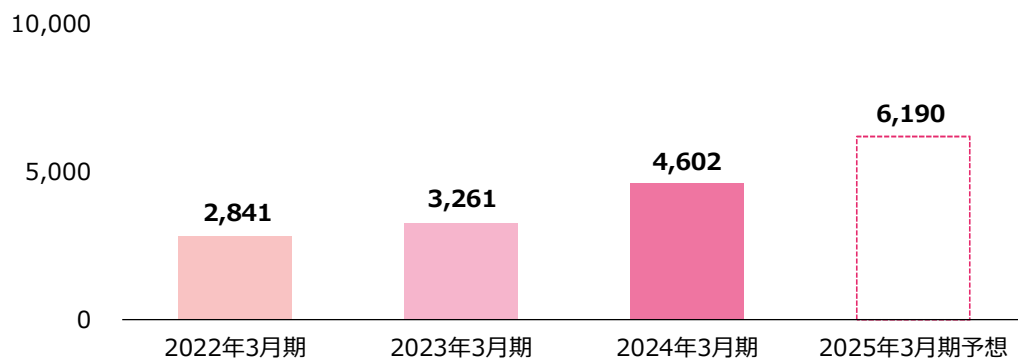
受注高

対前期比 +15億円



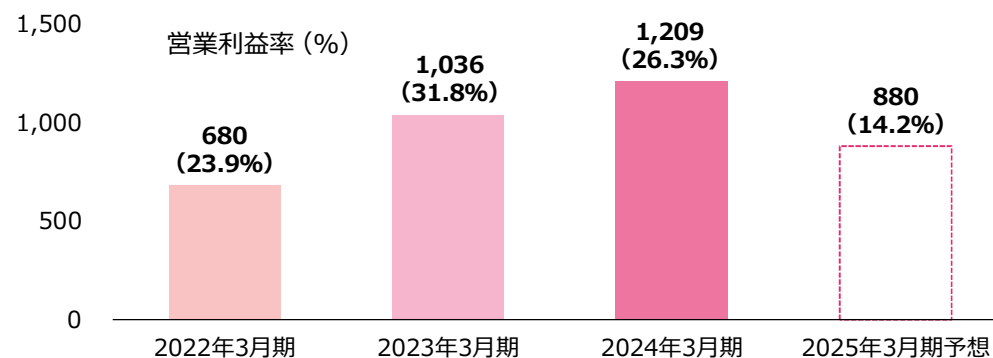
売上高

対前期比 +15億円



営業利益

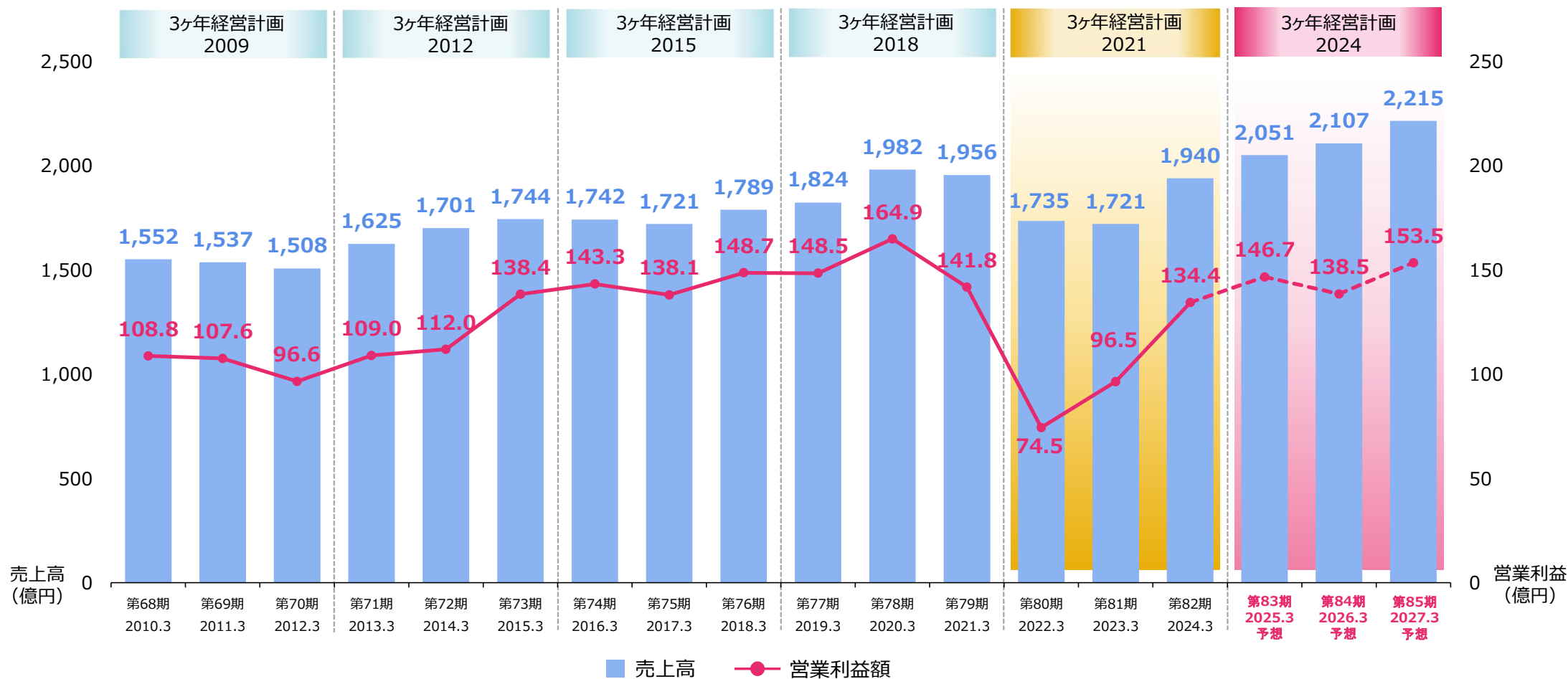
対前期比 ▲3億円



●賃貸マンションの新築や賃貸ビルの入居率向上に加え、新規事業の創出に注力し売上増を目指す



2024年3月期にV字回復達成 ▶ 利益を確保し、持続的成長へ



日本電設 3ヶ年経営計画 2024

飛躍への挑戦

チームNDKで挑み、共に成長を実感する！

安全・品質 レベルの向上と ガバナンスの徹底

お客様・工事従事者の安全確保と質の高い成果物の提供とともに、リスク管理体制の強化、法令や社会規範の順守により、お客様や社会からの信頼を高める。

新たな挑戦への 風土づくりと価値創出

「挑戦」を根底に既成概念を打破する広い視野と思考で、自ら考え・行動する風土の醸成と仕組みづくりを推進し、新たな価値を創出する。

人材確保と 施工体制の強化

人材確保を重点に進めるとともに、社員一人ひとりが様々な経験をおして成長を実感できる施策を推進する。共に働く協力会社への人材確保・育成の支援などを推進し、『チームNDK』の実行力強化を図る。

エンゲージメントと 生産性の向上

多様な人材が生き活きと働けるように、社員間の交流や組織の活性化の推進と働きやすい環境や制度の整備を行い、エンゲージメントと生産性の向上につなげる。

環境・ 社会への貢献

工事や事業活動をととした環境負荷低減への貢献や地域社会活動への取り組みを推進し、共にその価値観を共有する。



本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、
実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。



日本電設工業グループ

お問い合わせ

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL 03-3822-8825

FAX 03-3822-8960

URL <https://www.densetsuko.co.jp/>